

# 幼の育教

號七第號月七卷八十二第



內校學範師等高子女京東  
會協園稚幼本日

帝國美術院會員  
東京美術學校教授

岡田三郎助先生・丹羽禮介先生共著

新刊 學校家庭

圖畫描き方の基本と其の画集

菊一全刊 菊  
帳装 ンリブ  
錢十五圓二金價定  
錢八十金料送

繪畫演習の  
基本形の取  
り方を簡單  
に然も明確  
に標示す!!

作畫の第一階梯として最も必要な事は基本型の取扱方である。若し其を無視して自然を寫し物象を描かんと爲るも全く無駄な努力である。而して繪畫の基本型は、一圓型(卵圓形、半圓等)、二、三角形(不等邊三角形、二等邊三角形等)、三、四角型(長方形等)の三種であつて、之等の配置、交錯に基いて諸種の物體が如何に簡單に明確に描き出さるゝかを兒童に會得させれば作畫の興趣を喚起し、觀察力と創造力を助長し、完全の圖畫教育の効果を擧げ得ると云ふ見地から著者は國定圖畫、新定圖畫帖尋三、四、五、六年の綜てに亘り一基本型の取方と描方を示し、尙畫集を附して自由自在に其應用の範圍を示す、初等教育圖畫擔任の先生並各家庭の御必備御使用を希ふ。

帝國美術院會員  
岡田三郎助  
丹羽禮介  
著

六版	學校家庭クレヨン畫集とその描き方	菊一全刊 菊 帳装 ンリブ 錢十五圓二金價定 錢八十金料送
五版	學校應用圖案畫集とその描き方	菊一全刊 菊 帳装 ンリブ 錢十五圓二金價定 錢八十金料送
三版	學校教育略畫集とその描き方	菊一全刊 菊 帳装 ンリブ 錢十五圓二金價定 錢八十金料送

奈良女子高等師範  
學校教授 兼 講師  
横井曹一著

新刊 中心學習 手工學習指導

菊一全刊 菊  
帳装 ンリブ  
錢十五圓二金價定  
錢八十金料送

從來の唯單に指導者の精進主義に依る機械的、他律的の模倣製作の規範から脱して、兒童目から自己の生活から學習の題材を選擇し、その材料を蒐集し、形狀寸法構成を立案し、自律的に自己發見の技巧に依つて藝術的、並科學的製作を爲さしめ得る様に力め、作法の會得と創作の暗示を與ふべく遺憾なきを期して居ります。従つて初等教育家、手工科指導者の無二の寶典です、必携を希ひます。

發行所 東京市東區 牛車水 九番地 中區 文館書店 電話 替東 牛車水 三番地 三番地 三番地 五番地 番番





# 本日幼稚園協會編輯幼兒教育

會長

東京女子 醫師 堀 吉岡 郷 甫

主幹

東京女子高等師範學校教授

堀 七藏

贊助員

東京高師教授

巖谷 秀雄

東洋大學教授

棚橋源太郎

東京帝大醫科講師

醫博

乙竹 岩造

東京府女子師範學校長

田子 一民

東京高師教授

文博

太田 孝之

帝國教育會理事

高島平三郎

慶應大學教授

醫博

大瀨 甚太郎

瑞穂幼稚園長

龍山 義亮

東洋幼稚園長

文博

唐 澤 光德

東京音樂學校長

土川 五郎

早蕨幼稚園長

醫博

岸邊 福雄

京都帝大教授

野口 援太郎

東京高師教授

文博

佐々木 秀一

東京女子高師教授

倉橋 惣三

東京女子高師教授

文博

下田 次郎

東京帝大教授

松村 武雄

東京女子高師教授

醫博

菅原 教造

奈良女子高師校長

松本 亦太郎

東京女子高師教授

醫博

富士川 游

奈良女高師附屬幼稚園主事

榎山 榮次

東京市教育局長

文博

藤井 利譽

東京帝大教授

三田 谷 啓

東京女子高師教授

文博

藤 井 利譽

東京帝大教授

湯原 元一

東京女子高師教授

文博

福士末之助

東京帝大教授

吉田 熊次

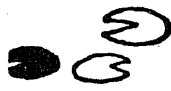
東京女子高師教授

文博

谷 本 富

東京女子大學長

安井 哲子





第二十八卷 幼 兒 教 育 第 七 號

口 繪 七 夕 祭

自然物を應用した額

日本幼稚園協會總會豫告……………二頁

私の視察した歐米の幼稚園教育……………堀 七 藏……………四頁

行儀作法躰方の根本方針……………和 田 實……………一七頁

幼兒期の情意教育に就て(一)……………大 塚 喜 一……………二七頁

幼兒の夏の病氣……………青 木 醇 一……………三八頁

自然物を額に應用することについて……………望 月 夕 二……………四六頁

保育手帳から……………卜 部 た み……………四九頁

幼兒の特技に就て……………久 門 嘉 祐……………五五頁

或る夜のできごと……………新 庄 よ し こ……………六二頁

裸 ん 坊……………水 島 さ ゆ り……………六五頁

遊戯 蛙と蜘蛛……………土 川 五 郎……………六九頁

# 抒情詩集 いとしき人

サトウ・ハチロー 著 吉部二郎 装幀

最新刊



四六判上質紙二百十餘頁朱子製本天金極美装  
 定價 壹圓六十錢 送料 十二錢

私は、ほんとにやさしい喜びを持つて皆さんにこの詩集を捧げます。爪色の雨以後の多くの少女雑誌、婦人雑誌へ発表したものは、みなこの本のなかにあります。その他折にふれ私のやさしい心をうつものがあつたとき書きとめて置いた短唱もすべて入れてあります。

いとしき人に

いとしき泣きぼくろありき

まつ毛をつたふみぞれに

いつも黒くぬれそぼちたりき

私は、この本が一冊でも多く賣れて、この本を讀んだ人の心のやさしさを育て、くれれば幸ひです。心やさしき人に私は「いとしきなまぼくろ」を捧ぐ。美き人にはこの詩集を捧げます。

## 少女讀物白眉

エクトル・マロー原著 非水装幀  
 片岡鐵兵氏譯

あゝ 故郷

四六判二百數十頁極美装  
 定價壹圓六十錢 送料十二錢

サトウ・ハチロー 譯 非水装幀

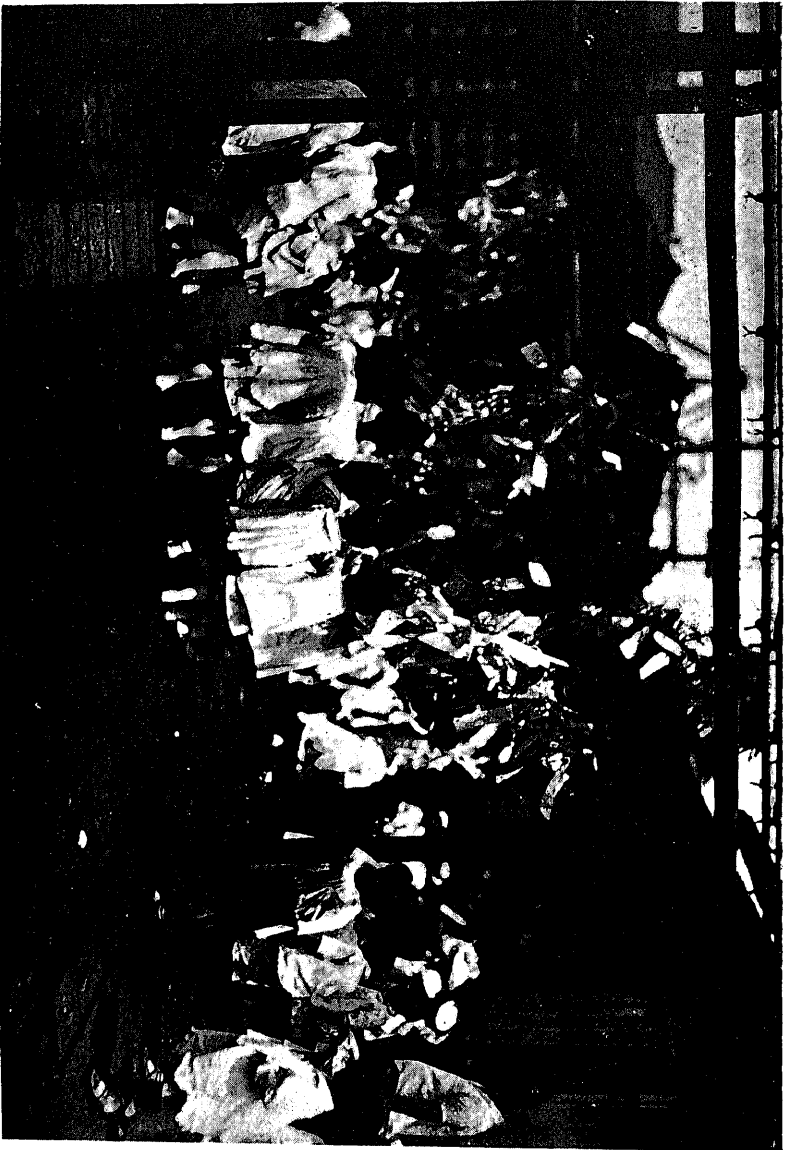
世界名詩物語

四六判二百數十頁極美装  
 定價壹圓六十錢 送料十二錢

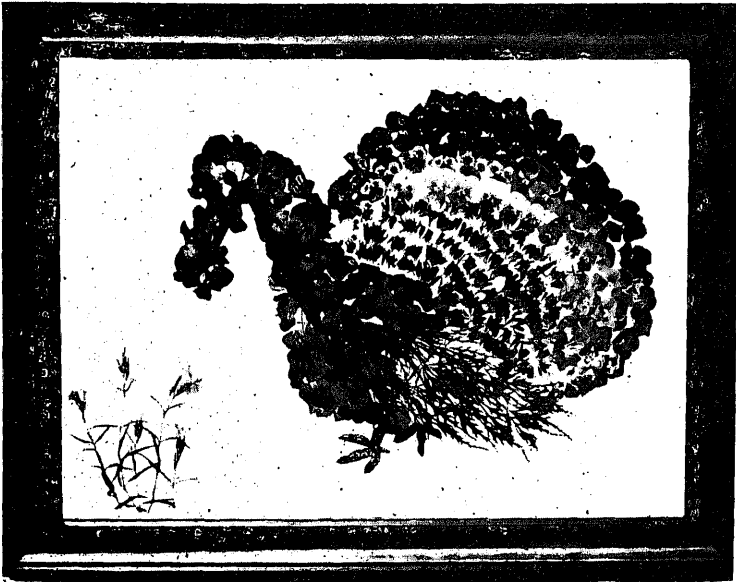
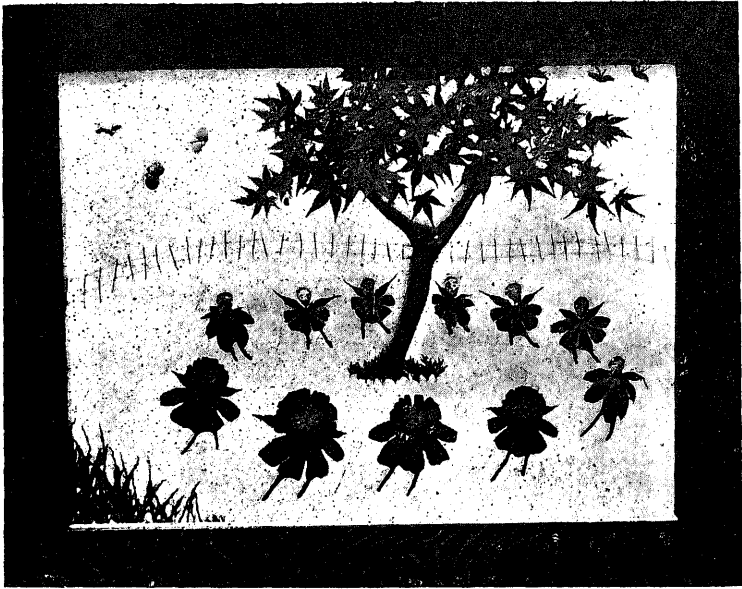
文洋社

東京市牛込區  
 西五軒三丁目

振替東京一〇九四番  
 電話牛込四三番  
 番四九〇六一番



(圖推劫屬附師高女京東) 祭 夕 七



(園稚幼戸神) 額の用應物然自





號七第 育教の兒幼 卷八十二第

月七年三和昭

- 一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。
- 一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園教育であります。幼稚園教育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。
- 一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園教育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。
- 一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園教育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。

# 日本幼稚園協會總會豫告

## 一、期日、場所

来る七月廿七日廿八日の兩日午後一時より日本幼稚園協會の總會を東京女子高等師範學校に於て開催いたします。

## 二、順序

第一日 會務報告、研究發表

第二日 研究發表、懇談會（茶菓並に餘興）

## 三、會費

一人金五拾錢

#### 四、加入申込その他

1. 總會に出席加入御希望の方は来る七月廿日までに御申込下さい。七月廿六日より文部省主催幼稚園に關する講習が東京女子高等師範學校に於て開備せられる筈であります、多少混雜する虞もありますから豫め總會加入を御申込下さる方が便宜であります。
2. この總會に於て幼稚園教育に關する研究の發表を歓迎いたします。御希望の方は研究題目並に發表に要する時間等を附し七月廿日までに御申込下さるやう願ひます。
3. 會費は總會御出席の際御拂込下さい。
4. 餘興には落語、童謡等を行ふ豫定で目下それ〴〵交渉中であります。
5. 御申込は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會事務所宛に願ひます。

昭和三年五月廿五日

# 私の視察したる歐米の幼稚園教育

(フランス)

堀 七 藏

私がフランスに行つたのは六月と十一月の二度であります。何れもほんの通り過ぎたといふ位であります。殊に六月上旬には英國に行く途中二日間マルセイユに上陸したばかりであります。十一月には瑞西のジュネーブからフランスのリヨンに出てパリに二週間ばかり滞在し十一月二十日にパリからカレの港に出て英國に歸つたのであります。こんな譯でありますからフランスの幼稚園教育は十分視察することが出来なかつたことは勿論であります。それにフランスではフランス語が殆ど出来ない關係から全く聞き學問は皆無であります。僅かに視た二三の事實から察する程度に止まることは止むを得ないと思ひます。それにフランスの幼稚園教育方面は從來比較的よく我が國にも紹介せられてゐると思ひますから茲にフランスに關する所感を述べる積であります。

マルセールで始めてヨーロッパの地を踏んだときの第一印象はフランス女の活動であります。マルセールのマーケットを午前中見たときは質素な服装を纏つた女、メイドであるか主婦であるか、新参の吾々には全く見分けがつかなくなつたが、悉くかごや袋などを持つて買出しに來てゐる勤務振に感心したのであります。臺所口から御用聞に注文をしてゐる主婦や女中と全く類を異にしてゐるに驚きましたことは事實であります。「フランス女は華美であるなどとは全く嘘である」と異口同音に五六人が一致した感じでありました。

更に晝食時レストランに入つて驚きましたのは四十すぎとも見える婦人が四五歳の女兒を連れて隣のテーブルで晝食をしてゐます。吾等の好奇心はこの親子二人の女に注がれたのであります。驚くべきことにはその母親が盛にワインをのんでゐるのみならず、女兒もお茶同様にワインをのんでゐることです。尤も凡てのレストランの定食には必ず半リットル位のワインが附物であるからであります。日本でお茶のみサイダーなどをのむところにフランス國産のワインをのむのであります。これは後になつてパリでも経験した所であり、多くの人々がいふ所でありましたが獨逸でビールを婦人も子供ものむが如く、フランスではワインをのむのであります。師範學校の寄宿舎で晝食の飲料がワインである事實から推測してもワインはフランスの國民的飲料であります。その爲かどうか知りませんが、フランス

人は一般に敏捷であり怒り易いがまたさめ易いのであります。フランスの國民性が英國とも獨逸とも著しく相違してゐることは一寸フランスに入つただけでも明白に分るのであります。これは恐らくフランスの自然が然らしめる所でありませう。フランスはヨーロッパ諸國に比べて天候が誠に良好で一切が陽氣であります。試に緯度を調べるとパリが北緯四十八度五十分、リヨンが四十五度四十一分、ボルドーが北緯四十四度五十分マルセルでも四十三度 あります。我が國では北海道の札幌が北緯四十三度でありますからフランス國はあげてわが札幌以北と考へてよいのでありませう。しかし氣温は驚くべき程温暖であります。これは主としてアフリカ熱風の影響を受けるものでありませうが兎に角、次に示す一ケ年の氣温表を比較すると成程と首肯する點が多くありませう。参考のため札幌の氣温をも採録いたしませう。

	パリ	ボルドー	リヨン	マルセル	札幌
一月	二、三	四、八	一、五	六、三	零下六、四
二月	三、六	六、一	三、四	七、四	零下五、三
三月	五、九	八、三	六、二	九、二	零下二、七
四月	九、九	一一、七	一〇、五	一二、六	五、四
五月	一三、〇	一四、六	一四、〇	一六、一	一〇、四

六月	一六、五	一八、〇	一七、七	一九、八	一四、八
七月	一八、三	二〇、一	二〇、一	二二、三	一九、一
八月	一七、七	二〇、一	一九、四	二一、七	二〇、九
九月	一四、七	一七、六	一六、二	一八、九	一六、二
十月	一〇、一	一二、九	一一、〇	一四、五	九、六
十一月	五、八	八、二	五、七	九、九	三、〇
十二月	二、七	五、一	一、七	六、七	零下三、二
全年	一〇、一	一二、三	一〇、六	一三、八	六、九

札幌よりも北にあるバリでもポルドーでもまたリヨンでも冬は遙かに札幌よりも温暖でありませう。それで夏が比較的熱くないことが注目すべき点であります。かく一年中氣候温和で陽氣でありますからヨーロッパ各國人が冬は避寒に夏は避暑遊山といふ工合にフランスに入込み、フランスで享樂することは大抵想像がつくのであります。況んやフランスで生活するフランス國民が快活で陽氣であることもまた一般に享樂氣分の漲つてゐることも單にワインの飲用量の多い結果のみでもないかも知れません。

### 三

マルセールで第三の印象は正午すぎよりレストランに出入する男女の甚だ多いことであります。殊に

フランスの若い女達がオフィスから出てレストランやカツフェーに入るものが甚だ多く、夜を徹してダンスなどで活動した女達が午后になつてそろ／＼お化粧をして出て来る向も甚だ多いことは如何にフランスが享樂主義個人主義の旺盛なるかを想像させるに十分であります。十一月にパリに出た時は季節も漸く冬に入る有様で左程遊蕩氣分を目前にすることも少なかつたが、それでも英國よりも獨逸よりも何といつてもパリであるなといふ氣分はたつぷり溢れてゐます。勿論フランスといつても國をあげての話ではないのであります。フランス農村の家庭には質素な所が多く、健實味がたつぷりであります。マルセルやパリを以てフランス全國を想像することは早計でありますがしかし何といつてもフランスは衰微に向つて坂を下りつゝあるのは事實であります。文明の絶頂から既に衰微の坂を下りつゝあることは誰も否定出来ません。従つてフランス國の前途を懸念する爲政治家は非常に苦心する所があるのです。

## 四

近來フランスは出産率が著しく減退し人口の増加率が甚だ小となつたのであります。増加どころか或は減少するといふ有様であります。質の良好も誠に重要でありますが、フランスは國民の質といふ問題よりも量の減少を如何に防止せんかに苦心してゐる現状であります。試に世界各國の人口一年平均増加率を見ると次の如くであります。この表は人口一千についての數でありますがフランスとベルギーとは



減少の數を示すものであることを附加せねばなりません。

デンマーク	一八、五	オランダ	一五、六
北米合衆國	一五、三	日 本(内地)	一三、五
ノルウェー	一二、四	スウェーデン	六、九
イタリー	六、八	ドイツ	五、七
イギリス(愛蘭を除く)	四、七	瑞 西	三、五
ベルギー	△ 〇、三	フランス	△ 四、三

この統計は一九一一年より一九二一年までの十年間の平均でありますからドイツとフランスとは特別の事情にあります。丁度歐洲大戰を含んだ十ヶ年間の統計で、大戰によつて兩國共に多數の壯丁を失つてゐます。フランスの如きは百五十萬の壯丁を失つたといふことであります。獨逸は大戰によりアルサスローレンなどを失つて、壯丁の減少に加へて更にその地方の住民を失つた結果になるから人口増加率の貧弱なことは蓋し止むを得ない所であります。フランスはアルサスローレンを得て國民の増加を來した筈にもかかわらず、著しく減少してゐることを示すのは確かに出生率の減少が甚だしいことを物語るものでありませう。更に大正十二年又は十三年に於ける出生率を見ませう。我が國は大正九年に三六、一九の高率を示しその後減少の傾向を示してゐますが、大正十四年には三四、九二を示してゐることを

豫め御承知を願ひます。それに比べるとヨーロッパ諸國は何れも遙かに低率でありますが殊にフランスは甚だしいのであります。

スペイン	二九、九(大正十三年)	イタリー	二九、一(大正十二年)
ハンガリー	二六、三(大正十三年)	オランダ	二四、九(大正十三年)
オーストリヤ	二二、三(大正十二年)	アイルランド	二二、二(大正十三年)
スコットランド	二一、九(大正十三年)	デンマーク	二一、九(大正十三年)
ノルウエー	二一、七(大正十三年)	ベルギー	二〇、七(大正十二年)
ドイツ	二〇、四(大正十三年)	スイス	一九、四(大正十三年)
フランス	一九、〇(大正十三年)	イングランド	一八、九(大正十三年)
スウェーデン	一八、二(大正十三年)	ウエールズ	

であります。歐洲大戰は各國の出生率に非常な影響を與へてゐます。殊に交戦國は甚だしく、戦前に於て二四以上であつたイギリスは最低一九を示し、二七以上であつたドイツが最低一四に、三〇以上のイタリーが最低一八となつたのであります。フランスは一増甚だしく戦前一八以上であつたフランスは最低一〇となつた位であります。かく出生率が減少し人口の自然増加率が貧弱となつたのでフランスの爲政家は非常に憂慮して國民増加のためいろいろの工夫を講じてゐます。

人口増加の爲に執る政策は出生率の向上であります。これは母性愛を高潮するより外ないのであります。全國民を風靡する個人の安逸、夫婦享樂に對抗するものは母性愛より有力なものがない。この母性愛を涵養するには女子教育に於て育児や保育の實際を理解せしめ子女を愛育する心情を培養することが最も有効でありませう。かゝる根本精神を以てフランスの女學校には幼稚園があり小學校が附屬してゐるのであります。更にフランスでは人口増加の爲に執る政策として第一に貧民などの出産前後に大に保護する。産科院に收容して出産せしめ、産れて後には牛乳を給する制度があります。また育することが出来ないものは市または國家が負担するのであります。パリ市廳には番號札のついた子供籠があります。養育することの出来ない子供をその籠の中に入れて合札を持つて歸るとよいのであります。所謂棄兒籠であります。するとその兒はパリ市の小兒病院に收容せられて養育せられる。そして一週一回又は一ヶ月に二回の面會日があるから合札の番號によつてわが兒に面會出来るといふ工夫になつてゐます。こんなに棄兒を獎勵するやうであります。が貧民が無理な保育をするよりも市から適切な養育をなすことは甚だ肝要であるからでありませう。それでフランスでは國家が乳幼兒を養育し更に尼さんが幼兒を保育しまた保育學校も幼稚園もよく發達普及して幼兒の教育に十分努力してゐるのであります。

尙ほフランスでは人口増加の政策として子供の多いものには所得税の率を著しく低減してゐます。尙ほ多くの子供を入學させると學校に於て著しく授業料を減額するのであります。我が國の如く家族制度

の國では等の方策を講ずることは當然でありますがフランスの如く夫婦本位の家庭でかゝる政策を實行することは寧ろ余分のことでありませう。それにもかかはらず人口増加の政策として實施してゐるのはよく／＼のことであるからでありませう。

## 五

日本大使館の紹介状を持つて單身大使館から程遠からぬリセーを參觀に出かけました。リセーは佛國の國立中學校で十一歳より七ヶ年の教育をなす所であります。しかし準備として六歳より十一歳までの小學校生徒を收容してゐる所も少なくありません。私の參觀した學校などはそれでありませう。尤も女子の中等學校であるから五年程度であります。幼稚園も小學校もあり至極立派な學校であります。

應接室には婦人と子供との大きな大理石彫刻があつて、成程フランスの女學校だといふ感がふかひのであります。こんな立派な大理石彫刻があるのはフランスならでは見られぬ所。しかも母性愛を高潮するためには格好な彫刻であります。更に壁には佛國の大家 モンテニウ、バストウール、ヴィクトル・ユーゴー、バスカル、デカルト等の肖像が如何にも計劃的に額となつて掲げてあります。また廊下には世界の名畫(ルーブル博物館のものが多いが)適當に掲げてあります。凡て教室は明るく開放的でしかもヴァルコニー式の廊下になつてゐることは英獨などとは著しい相違であります。生徒も至極快活で陽氣であります。最初に參觀したのが小學校一年生。一組四十人の男女、机は五人掛けで腰掛は籐椅子であり

ます。計數器や掛圖などがあることは我が國の小學校と大差がありません。それから女學校生徒の物理教授を參觀した後幼稚園を參觀すると男兒だけの組で三十人、保姆は一人の助手を使つて先づ遊戯をさせました。ピアノを弾くと幼兒は手を打ちつゝリズムに合せて歩むのであります。至極簡單なもので我が國幼稚園の遊戯の如く大人が工夫に工夫をした手のこんだ技巧的なものではありません。極めて幼兒らしく簡單ものであります。この遊戯が五分間位ですむと作業になります。書をかくもの、縫ふもの等いろいろで自由であります。この學校は午前には九時より十一半まで授業があつて、午後には一時半より四時まで授業を行ふのでありますから晝食休が二時間あります。この時凡ての生徒は歸宅して晝食をとるのでありますから午后はクルシー通のリセーを參觀に出かけました。

丁度クルシー通に行くとき晝食に歸宅した女生徒が集つて來るからどこが學校か、直ぐに見當がつきます。入口は實に堂々たる新築校舎であります。一時二十分にベルが鳴ると生徒は皆廊下で整列して教室に入ります。先づ幼稚園を參觀すると幼稚園は一組で矢張三十人。助手なしで一人の保姆が保育してゐます。保育室と附屬室、それに戸棚、腰掛け、壁黑板、ピアノ等誠によく設備してあります。壁には朝顔の模様が裝飾となつて明るい氣分が湛つてゐます。大きな兒は文字の練習をなし小さな兒は繪をかき積木遊びをしてゐます。この幼稚園は誠によい幼稚園であります。更にリセーを參觀したいと申込んだが駄目であります、リセーは國立であるから日本大使館の紹介だけでは參觀出來ない。リセーを監督す

るのがソルボン大學の總長であるかちその許可を受けないと參觀出来ないであります。

成程フランスでは小學校が六歳より十三歳まで義務教育であります。それが九歳までを初等科として道徳・公民・讀書・算術・習字・圖畫・唱歌を主とし地理歴史を附加して教育するのであります。それから十一歳までを中等科として手工・理科・農業・園藝が加へられ、それから上が高等科であります。小學校卒業認定試験に合格すれば何時でも義務教育が終はるといつた制度であります。所が中等學校は國立でリセーがあり、地方立でカレッヂがある外に私立學校も少くないのであります。そして國立のリセーは我が國の如く文部省が監督するのではなく、大學が統括してゐるのであります。それといふのは全國を幾つかの大學區に分ち之に大學があり、リセーがあるので、明治の初年我が國で採用した教育制度はフランスのものを模倣したものであつたのであります。我が國では今日著しく變化してゐますがフランスでは依然もとの制度によつてゐますからバリのリセーを參觀するにはソルボン大學總長の許可を得ねばならぬことになつてゐます。

兎に角フランスの教育で面白いのは女子のリセーに小學校や幼稚園が附屬してゐることです。

我が國の師範學校で附屬小學校があるのは教授實習のためであります。幼稚園を附屬させてゐる女子師範學校が少い位であります。幼稚園を小學校に附屬させてゐるのは教育施設上からの便宜でありませう。然るにフランスの女子のリセーで幼稚園を附屬させてゐるのは勿論教授方法の練習のためではありません。

ん。小學校を準備として附屬させとゐるのとも多少異なる點がありませう。女學校生徒をして子供を可愛がる子供を教育する趣味と實際的能力とを得させる爲でありませう。女子の職業としても幼稚園保姆小學校教師が最もその適する所であり更に家庭の母となつては育児の方法を理解することは割烹や裁縫よりも一層重要でありませう。殊に教育を受ける程結婚を厭ひ母性愛を欠き育児を輕視するの弊を生じ易いから女學校時代に於てかゝることのないやうに特に注意を拂つた施設でありませう。

## 六 セーブルの女子高等師範學校

パリの郊外セーブルにフランスに一校しかない女子高等師範學校があります。この女子高等師範學校は曾つてキュリー夫人、ラヂウムの發見者で有名なキュリー夫人が奉職してゐた所であります。セーブルの町通を一寸左に入つた所に高臺を脊にして宏大な四層の建物があり地下室を加へると五階建、前面の高臺はサンクロアの公園、右方にセーブルの陶磁器會社の煙突を通してパリのエツフェル塔が見えるといふ閑靜な場所にあります。

セーブルの女子高等師範學校長はミス・アミュといふ溫情に満ちた婦人、早速先頭に立つて案内せられる。高等師範學校の學生は百名内外であるが、附屬學校は幼稚園から小學校高等女學校とあります。幼稚園は幼兒が四十人、保育室にはいろいろの玩具や積木があり、直に庭に出ることが出来るやうになつてゐます。今しも幼兒は多く庭に出て遊んでゐます。庭は廣くはないが砂場があり、花壇がありして四十人

の幼児が自由に危険なく遊ぶにも都合よく出来てゐます。全く理想的な幼稚園といふべきものでありませう。小學校は四組、その一組では生徒の研究したものが多く陳列してあります。英國のダルトン案實施の學校などが遠く及ばない位に生徒が自學し研究してゐます。さすが附屬小學校や幼稚園であると感服したのであります。尙ほ附屬の女學校、女子高等師範學校をも參觀したので参考となることが多かつたがこゝでは省略することにいたしました。

しかしこのセーブルの學校も同様であるがフランスの學校は木曜日に休むから一週二回の休日があります。その代り土曜日は他の曜日と同じく終日授業があるのは獨逸や英國などと異なる點であります。英國の學校は土曜日と日曜日とが休日で、水曜日の午後が多く運動日になつて居ります。平日は午前九時始業で晝食休が二時間あり、午後三時半か四時に終業するのであります。所が獨逸は毎日午前八時始業で午後一時終業でありますのと一週間六日間は授業があります。それ／＼國情によつて異なるのは勿論であります。我が國などは只外國の眞似をせず相當考量して出来るだけ休日を統一する方がよいかも知れません。學校會社と普通の商店と休日の大に異なることも教育上不便が少くないのであります。



行儀  
作法  
躰方の根本方針

目白幼稚園 和田 實

吾々が子供であつた時に較べると、今日の子供は一般に言葉遣ひが亂暴であり、動作が粗野であることは、誰も否むことは出來まい。(無論、中流の家庭を標準としてゐるが)之を昔に返さうとして努力して居る人もあるし、不可抗力の大勢として諦めて居る人もあるが、中には眞面目に考へて、一體、行儀作法の躰方の根本方針は何處にある可きだらうか。昔の躰方と今日の世の中に於ける行義作法の仕方とは同じ方針である可きだらうか。又は其處に時世に即した相違があるだらうか二三十年昔の小學校や幼稚園では、先生が子供の名前を呼び捨てにすることは決してなかつたが、今では小學校などでは、子供の名前を呼び捨てにする先生は屢々見受ける。(まさか幼稚園ではない様であるが)昔の小學校では子供同志と雖も互に「さん」又は「君」の敬語なしには呼ばせなかつたものであるが、今日では、斯様なことは頗る稀に見受けることゝなつた。言葉遣ひが、既に斯の通りであるから、其他の動作に至つては、固より當り前の事として、頗る粗野になつて來て居る。是等の現状は當然の大勢として放任す可きもの

か、何等かの對策を講ず可きものか、眞面目な人は思ひ腦ますには居られぬ。一と件の見識ある人から見たら、たわいない事であらうが、保育上の問題としては、確かに一顧の研究を要するものと思ふ。

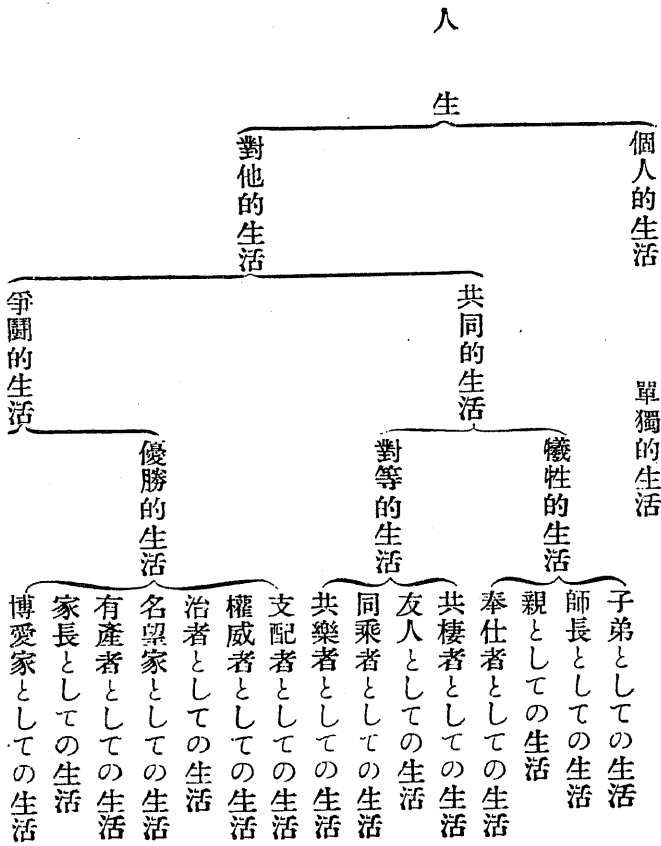
勿論、今日の中小學生の行儀作法を粗野ならしめたものは、其原因の主たるものは高等なる學生の粗野不行儀に基くものであり、其は又維新の際に於ける所謂、志士國士の不行儀不法法に因するには相違ないが、然りとて、之を昔のまゝに復古しなければならぬものか、其根本方針は何處にあるのか、子供は何時も、貴人の前に於けるが如く、戦々競々として、恭敬是れ事としなければならぬものか、夫れとも、敢えて、人を恐れず、大道活歩の意氣を備ふ可きか、其思想の根本は何處に置く可きか、是等は一通り教育者の研究を要することであるまいか。吾等は必ずしも、子供を小笠原流の禮式作法の中に育て様とは考へては居らぬ。さればとて、先輩や師友の前で、平氣で放屁する様な今の學生の様に育てたくもない。夫れには確とした根據のある思想を中心として躰方の根本を握りたいと思ふ。

大人は細瑾を顧みずと云ふ、東洋豪傑流の未開状態や半文明状態は、最早、今日の時世の躰方方針としては採る可きものではあるまい。何となれば、元來行儀作法と云ふものは、道德の具體的動作であつて、人格の實際化された行爲であるから苟も、思想と行爲とを一致させ、知行合一の實を示さうとするには、行儀作法も、其人の人格の現はれと見、其人の道德の實際として見らるゝ様にしなければならぬいからである。此意味で行儀作法を見ると、中々重大な意義を有する。過般、十年近い外國生活を終へ

て歸朝した或一家族に遇つて、色々歸國してからの感想を聞いて見ると、大人は大して苦痛もないが、子供が彼方の自由慣れて居るのに、日本に歸つてからは、事毎に大人の顔色を見て「おづく」と行爲しなければならぬのが可哀想であると云つて居つた。考させられる様な氣がした。日本では謹嚴と恭敬の中に子供を躰け様として居る。何時も貴人の前での恭敬ぶりを實現させやうとして居る。之が當然の事であらうか、少くも、子供本位の教育として、適當なものであらうか、子供の生活を子供本來の位置に置かうとし、而して、子供本來の生活を以て、其子供の教育としやうとする、現今の教育理想から考へれば、是は明かに間違つて居ることの様に思ふ。己れに克へて禮に返るで、唯、自分の欲を制し、權利を讓つて、曾讓の仁を成さんことをのみ心掛けしむることは、最早今日の仕付方ではあるまい。然らば躰方の根本は果して何處にある可きだらうか。少しく吾人の愚見を述べさせて頂きませう。

行儀作法が、人格の現はれであり、道德の實際的行爲である以上は、行儀作法躰方の根本的要求は、矢張、人生の目的、道德の根源かも知出て來なければならぬ。而して、人生の目的は完全なる自己の實現であらねばならぬ。完全なる自己の實現は、自己の個人生活と對他の生活との兩方面に現はねばならぬ。然し、此對他の生活には共同的方面と争鬭的方面とがある。其共同的方面と云つても其中には、犠牲的奉仕の生活をしなければならぬ場合と對等的に共存共榮共樂する場合とがある又、争鬭方面と云つた所で、常に優勝的な位置に立つて支配者となり、權威者となる場合もあれば、劣敗者となつて、被治者

の位置に就き、常に配屬者として、使用人として奴隸的生活をしなければならぬ場合もある。以上種々なる生活状態が常に吾人の日常生活に現れ来るもので、吾人は夫れ々々の生活状態に應じて、心得を異にし、行爲を異にしなければならぬ。今、是を見易い様に表にして見ると



### 服從的生活

雇人としての生活  
子弟としての生活  
配屬者としての生活  
被治者としての生活  
無産者としての生活  
無名者としての生活

斯くの如く、人間の道德の現はれる可き方面には種々な場合がある。教養を経た大人は是等の種々なる場合々に應じて、身を處し行を訂して行く可きであるが、まだ、教養の道程にある子供としては、是等種々な場合に常に必ずしも、適切な行爲が出来るとは云はれない。否、斯の如き完全な教養はまだ、行はれて居ないのである。況して、人間としての生活の一步を踏み出したに過ぎない幼児としては子弟としての服從的生活から一步を擴張して交友の間に友人、同棲者、共同遊戯者としての對等的生活に歩み出でたるに過ぎない。斯く狭い範圍に限られて生活するものの、當然の行儀作法として、要求されるものは、自室内に於ける單特的生活、即ち、寢起に關する生活衣服、住居、飲食等に關する衛生的習慣に屬する生活等の外、對他的には、唯、子弟として師父に従順なる可く、共同者として交友の間に對等的儀禮を持つ外、何等要求せらるゝものはない筈である。即ち衛生的習慣を守り、師父長者に従順で交友に寛容なれば、夫れ以外には、幼兒に強要せらる可き行儀作法は、其本來の生活上には之を見出す

譯には行かぬ筈のものである。然るに、頑な老人、道德一點張の教育者に、稍もすると幼稚園の幼児を驅つて、お客様には儀禮を極めて交友には多大の犠牲を拂ふ可く要求し、常に、人に對し戰々競々として、忝敬、是れ事とせしめ、己れの欲することも、人の顔色に因つて案配することを學ばせ、惜しき物も他人が欲すれば遣らねばならぬことを強いんとする。凡てが貴人の前に於ける奴隸的服従の禮儀作法である。吾人は斯様にして此尊む可き幼児を驅つて、卑屈な生活に導き入れることを恐れるものである。教育は人をして、協調的妥協生活を獎むるものには相違ないが、然ればとて、人間本來の唯我獨尊的氣概を失はせたくはない。幼児に強ふるに小笠原流式の行儀作法を以つてすることは、餘りに他人をのみ重んじて、自己を滅却するものである。完全なる自己の發展を目的とする現在教育の理想から見れば、是は明に謬見と云はぬばならぬ。尤も、吾人は小笠原流の禮式其ものを排斥するのでは決してない。女學校に於ける禮式の練習は誠に結構である。小學校に於ても、或程度迄は此種の練習を要するであらう。併しながら、是を幼稚園迄持つて來て、常に最大級、最高級式の禮儀作法を強ふることを難んずるものである。幼稚園は幼兒の天賦を伸展せしむ可き筈ではあるが、日常社會的生活に必須なる實際的技能の教授には縁の遠かる可き筈のものである。禮儀作法は社會的生活上に於ける實際技能の一種である。之を一種の遊戲として、幼稚園の仕事に取り入れることは、勿論、左支ないが、技能傳達の仕事として又は訓練の一事項として幼兒教育の範圍内に置くことは、極めて不道理であると信ずる。

凡そ、幼稚園の仕事には二つの方面がある。訓練と遊戯とが夫れである。遊戯は極めて自由な性質を有するものであるから、是が幼兒の發達を阻害する心配は先づ尋常の場合に於てはない筈であるが、訓練は生活上の必要に迫られて、當然に仕付けなければならぬ人爲的習慣であるから、家庭の地位、家人の思慮方針等に因つて、自由に變更し改廢し得られ、従つて、種々なる教育的欠陥も出來れば長所も生ずるものである。行儀作法は無論訓練上の一事項であるから、實際の内容如何に因つては長短得失、決して一樣ではない。教育者の大に心す可き點であると思ふ。吾人の見る所では現在の如く、大勢の赴くまゝに放任して、益粗野に傾かしむることは無論よくないが、然りとて、餘りに餘計な、不必要な行儀作法迄も訓練することは要らぬと思ふ。要するに、幼稚園に於ては

一、衛生的生活に屬する日常の習慣的行儀作法

二、父母師傳に對する從順尊敬の行儀作法

三、交友に對する對等的共存的信愛互讓の行儀作法

右の三項に就きて充分に訓練することの必要は是を認めるけれども、其他の行儀作法に就いては之を單に遊戯中の一材料とし、遊戯的一動作として幼兒の生活に取入れることに因つて誘導的幼兒教育の本旨に適ふものとして、之を認むる外、訓練の事項としては到底認め難いと信するものである。従つて之を幼兒に強要する様なことは、斷然排斥しなければならぬと思ふものである。

尙序に、今少し各項の細目に入つて調べて見ると

壹、衛生的生活に屬する日常習慣的行儀作法

一、就寢に關する習慣

時刻、衣服、着換、排便、挨拶、等に關スル一定ノ行動

二、起床に關する習慣

時刻、着換、排便、洗面、挨拶等ニツキテノ一定行動

三、食事に關する習慣

洗手、着席、挨拶、食事等ノ一定ノ習慣

四、一般衛生に關する習慣

清潔(殊に顔と手) 着衣法、食物以外のものを口に入れぬこと、姿勢

五、排泄に關する習慣

排泄方法、場所ノ清潔、身邊ノ處置、洗手

貳、父母師長に對する行儀作法

一、敬禮ノ方法

辭儀の仕方、姿勢、注視、足並等



## 二、挨拶の仕方

登園、退園、有難うの御禮（何か厄介掛けた時）

## 三、言葉遣ひ

父母師長に對する言葉遣ひ

ました。ませんか。ですか。ますか。等の語尾を明にすること。（先生是でい、？）等單に語尾の強聲のみで間の意を現はす語法ヲ排斥ス

## 參、交友に對する行儀作法

一、他人の先占權 所有權を侵さぬことの習慣

二、右事項の讓與を受けたるときは感謝する習慣

三、共同共樂の經驗を積ましむる習慣

他人の仲間入を歡迎する習慣を養成すること（強要する必要なし）

以上の細目は最も實際に必要な個條のみを掲げたもので、是丈は幼兒の日常に、何うしても躰けて置かねばならぬものであるが、此他のものは或は父母、師長、自身の日常生活で、模範を示して誘導し置くか、或は遊戯材料として遊戯中に幼兒に經驗させれば足りるものと思ふ。兎に角幼兒に仕付く可き行儀作法は其本來の生活上必要なるものを、主とすることで満足し、他は小學校以上の學校教育に譲る

可きであると思ふ。

人或は貴人の前に出た時の起居動作が、即ち行儀作法ではないか。之を嫉げないで何の行儀作法ぞと云ふ人があるけれど、吾人は貴人としての觀念も充分ならず、貴人に對する心得等も充分でない幼児に、單に形式の上からのみ貴人に對する行儀作法を強いて、徒らに、人を恐れしむる様な教育をしたくないと思ふ。斯る盲目的服従の禮儀や奴隸的卑下な禮儀でなく、寧ろ、世間の大人と言ふものは幼児の進んで親しむ可き做ふ可きものであると云ふ觀念を先づ幼児の頭腦に入れて置きたいものと思ふ。此意味に於て幼稚園に來らるゝお客様などは、幼児の遊戯中のお客様として、共に遊戯のお相手と觀せしむる様にしたいものである。

幼児教育は幼兒自身の偉大さを發展せしむる所に意義がある。幼兒自身の偉大さを傷けしむる様な觀念は成る可く、持たせ度ない。従つて、幼兒生活の本來の必要以外には成る可く、屈從的行爲や、犠牲的生活をさせ度ないと思ふのが幼兒に對する愛撫的教養眼から見た吾人の希望である。(了)

# 幼児期の情意教育に就て (一)

大塚 喜 一

本文はもと「早教育の情意方面に就て」と題したるものであつたが、早の字が誤解され易きを思ひ斯く改題したのである。早教育が智育方面に於て稍もすれば早過ぎる教育を行はむとするはまことに遺憾なることである。

吾人は出来るだけ自然なる子供の生活に着眼して、其處に動く諸相を觀取し、其自ら然るべき當爲の方向に開發し輔導せねばならぬ。しかして斯かる教育は出来るだけ早くより始むるが至當である。無智と無計畫との中に放任せられ、又は大人の無理解なる取扱を受けたる子供は、次第に其自然なる神性を汚濁損傷曲變せしめらる。吾人の最も深く憂ふるは此點である。

神の世界より天降れる天使にも比すべき嬰兒が始めて人間界に呱呱の聲を擧げたる時、其時より親となりたる夫婦は如何にして此天使を待遇すべきであらうか、其神意に副はむとして負荷の重きに任へざらむ事を懼るは何人も然りであらう。これより來るべき數年間は其兒の一生涯の中最も大切なる時期である。此時期に於て、子供の自然の性情に副ふべき保育をなさんには核博なる智見と周到なる用意とを

要する。

本文は主として幼児の情意生活に着眼して、其教育上豫め知るを要すと思はるゝ諸相を述べたるものである。

## 第一章 習慣の養成

幼児教育の情意方面に就て最も平凡なる常道は子供の日日の生活上に於ける善良なる習慣の養成である。親たらむとする者は、子供の生後直ちに習慣の教育をなし得る様、豫め必要なる科學的素養を積むと共に、妊娠前より自己の日常生活を規制し、以て神聖なる天使の産れ來るを待たねばならぬ。

本章に於ては、主として C. M. Mason, — Home Education を參考として習慣形成の生理的基礎を説き以て實際の育児上に必要なる暗示を與へやう。

著者は本書の第三編「習慣は天性に十倍の力なり」(“Habit is Ten Nature”)第六節「習慣の生理學」に於て、次の如くに述べてゐる。(pp. 112—118)

「成長しつゝある組織が行動の様式を形成する」

凡そ身體の組織は、例へば筋肉組織にしても絶えず消費され、又絶えず賠償さるものである。我々が

自然的と考へてゐる歩行や眞直に立つ事等も、實は勞して教育されたる結果である。我々が意識的に習得せる字を書く事、舞踏する事等は皆苦心して習得したるものであるが、既に習得し終れば全く容易に且自然的となる。何故？ そは常に成長しつゝある組織の法則として、組織は其行動の様式を爲し得る様に形成されて行くからである。

腦が繰返しくゞて神經を通じて筋肉に同様の行爲を命令する場合にも、其行爲は下位の中樞に於て自働的となり、遂には腦の中樞を待たずして僅かの外界の刺戟にも反應し得る様になる。

斯の如くにして、子供の手の關節や筋肉はすぐにペンを持つて畫や字を書くのに必要な動作に適應する様になる。見よ、子供は彼の心によりてペンの用ひ方を學ぶのではなくして、新しく成長しつゝある筋肉それ自身が必要な行動を爲す様に形成さるゝのである。此事は、彼の香具師が常人には不可能なる諸種の藝を演ずる事を説明するものである。常人は香具師の如く、幼時の訓練によりて得たる或る特殊なる筋肉や關節の動作の能力を有しないからである。

「それ故に子供達は幼時に於て舞踏水泳等を學ばねばならぬ」

(前略) 筋肉や關節は新用法に叶ふ様になるのみならず、又或る特に養成さるゝ型に成長する。而して斯かかる成長や適應は幼時に於て最も容易に行はれる。

發音、頭部の姿勢等の如く、子供が時々刻々形成しつつある諸習慣を常に見守つてゐる事の必要なる理由は茲に存する。しやがんで歩く事、腰を曲げる事、話振りの不明瞭なる事等は、決して戯れの中に觀過さるべきではない。斯かる習慣は時々刻々皆自身の一部となつて成長しつゝあるものである。何となれば、是等は彼の脊髓の質そのものに刻印さるるからである。

「道德的及精神的習慣は生理的に身體組織に刻印される」

(前略) 道德的又は精神的習慣——例へば輕卒多辯なる、又は誠實なる、又は通常の等——も亦生理的組織に其の影響を印するものである。而して習慣の偉大なる力は、恐らくは此生理的効果に由るものであらう。尙吾人がかの極めて微妙なる機關である腦が、其使用さるゝ方面に従て變化され改造さるるを思へば、此事は決して怪むに足らぬであらう。今、圖解的に此事を説明すれば、成る習熟せる一系列の思考が腦細胞の中に一つの轍の跡を作れば、それ以後は思考の流れは其道を通るのが容易となり、それ以外の道を通る事は特に意志の努力を要する事とならう。

「腦細胞の不斷の再生」

我々が愛し、憎み、考へ、感じ、尊崇する等に際しては、事實腦の或部分を働かし、其結果として其部の組織を消費する。我々のあらゆる行爲は皆腦の命令に依て爲さるゝのであるから、此機關の勞作は

如何に大なるものであらうか！ 而して此過分の消費を償はんが爲に、腦は身體に供給さるゝ養分の最良部を消費する。全身の血液の六分の一乃至五分の一は腦の消費を償はんが爲に派遣さるるから、新しき腦の組織は驚くべき速さを以て絶えず形成されてゆく。

新組織は古きものゝ通りを其儘繰返すものではない。恰も新しき筋肉の成長が如何なる新運動にも適應する如く、新しき腦細胞は成長の時を経るに従て思考の習慣を得る様に成り行くものと思はれる。但此處で「思考」と云ふは心靈のあらゆる練習を含めてである。

「人間の大腦はそれが習慣的に練習さるゝ思考の様式へと成長して行くものである」と或有名なる生理學者は云ふてゐる。

又 Dr. Carpenter の話を以て云へば、

「如何なる精神的行動の一系列にしても、それが屢々繰返さるゝ時はそれ自らを永續せしめむとするものである。それ故に、我々が前に或事情の下に於て孝へ、感じ又は爲す様に慣れたる時は、其後はそれと同様の事情の下に於ては、特に意識的に目的觀念を思ひ浮べ又は經過を豫想する等の事無くして、自動的に前と同様に孝へ、感じ、又は行はむとするものである。其理由は下の如し。

即ち一般原理として、有機體の各部分はそれが習慣的に働いてゐる様式に従て自らを形成せんとする傾向にあり、而て此傾向は神經の機官にあつては特に強い。何となれば、習慣性となるべき思考の様式

そのものが即ち其機官の機能であり、其機能が丁度其組織の絶えざる再生の條件となつてゐるからである。

(記者解——筋肉が習慣付けらるべき運動は腦又は脊髓、神經等より他律的第二次的に指導せらるゝが腦内に於て習慣を形成すべき思考は腦そのものの働である。)

意識に現はるゝ如何なる觀念であつても、それが非常に強いか又は習慣的に繰返さるゝ時は、大脳に有機的印象を殘し、それに依て將來かゝる觀念を起すべき暗示に對應して同様の状態が再現せらるゝのである。

「人工的反射運動も亦獲得せらる」

腦の助けに依て我々は無數に多くの人工的反射運動を獲得する事が出来る。始の中は其動作をする爲に我々のあらゆる注意を集中せしめねばならぬが、屢々繰返す事に依て其行動は我々の組織の部分に迄食ひ込んで行つて、遂には著意する事無く又は無意識にても反應し得る様になる。

例へば、軍隊の教練は始は永き訓練の時期を要するが、練習の後は教官の聲のかゝるや直に動作する様になる。甚しきは、或歸休せる老練兵が食物を持運んでゐる際に「氣ヲ付ケ！」の聲を耳にし、突然



其手を下して食物を床上に落したといふ程である。訓練は斯く迄徹底すれば、其機制は其人の神経組織の中に織込まれるに至る。あらゆる教育の可能性は、神経系統の有する此方、即ち意識的動作を多少とも無意識的に、更に進んでは反射的に組織する力に基礎を置いてゐる(第三章参照)

それ故に規則として次の事が云はれ得る。即ち何か或る二様の精神状態が共に又は相續いて適當なる反復と明瞭さとを以て行はせられたならば、其結果として其状態の一方が起れば、我々がそれを欲すると否とに拘らず之と連絡せる今一つの状態が自動的に呼起される。

### 「智育及德育」

「智育の目的は、物事に關する我々の觀念をしてそれが自然に生起する様な順序と關係とに於て固き聯合を創造する事である。道徳教育の目的は惡行爲の觀念を苦痛と貶謫とし固く結付け、善行爲の觀念を快感と高貴とに固く結付ける事である。」

註 早教育の實行者として有名なストーナー夫人 Mrs. Winifred Sackville Stonor は其著「自然教育」(Natural Education)の中の「自然の結果による罰」(Punishment through Natural Consequences)なる章に於て、其令嬢キニフレッドを嫉けるに、子供の善行惡行が原因となれる自然法の結果が然るべき様に環境を仕組まれたる有様を記せられてゐる。それは丁度此處に論せらるる理論の實

行例として適切である。(中村八郎氏譯 どうして子供を育てるか参照)

「脳細胞の獲得せる變形によりて影響せらるる性格」

兒童の腦の實際の構造は、両親が許し又は獎勵した諸習慣に依るものである。而して兒童の諸習慣は其人の性格を作り上げる。何となれば或る精神的習慣が一度作られたれば、他の習慣が之に置換へられざる限り、常に其性質を繼續せんとするものであるから。(下略)

「外界の影響」

習慣の教育の困難なるは、寧ろ新習慣の形成が子供に容易に出来る點に存する。それ故に母は、子供が召使や他の子供達の行爲を見聞する事等の外界の影響によりて生ずる悪習慣の芽を摘み取る様に常に心掛けて警戒せねばならぬ。

◇

◇

◇

以上は習慣の形成に關しての Mason 氏の所論であるが、幼兒教育上に於ける習慣の養成の重要な地位を説き明すに適切な論と思ふ。

次に、實際に論及して習慣形成の心理的原理に就て述べやう。

麻生正藏氏は其著「家庭教育の原理と實際」第四章第六節に於て「習慣形成の心理的原理」として次の四項を擧げてゐる。

一、反覆演習則。「他事を同一とすれば、一定の反應が一定の對境と頻繁に又鞏固に聯合せらるる場合には、將來該反應は該對境に應じて益々容易に營まる。」

例、起床ラッパと共に起きる事

二、無例外則。「新習慣が子供の生活の中に安固に根を下す迄は決して例外を許すな。」

此事は殊に悪習慣の打破に際して嚴守すべき所である。小生思ふに、其故は只一回の破則によりて今迄持續せる意志の勝利の優越感が破れ、反對に舊來の陋習に對する執着心を勃發するからである。實際自己の修養努力の生活を反省すれば習慣の養成及打破に於て一も例外を許さぬ事こそ強固なる意育の眼目である。

三、効果則。「對境と反應との結合は行爲者に對して満足なる結果に依つて鞏固にされ、不満足なる結果に依て薄弱にされる。」

例、子供の善行を賞讃し、悪行を貶謫すること。

四、斷決則。「善良なる新習慣を獲得し又は劣惡なる舊習慣を打破せんとするには、行爲者自身に於

て、強固にして斷乎たる最初の決心覺悟を要す。」

此第四則に依つて他の原則も自ら守らるゝであらう。

父母教師たる者は、習慣に對する必要と興味とを兒童をして痛感せしむる様、あらゆる方面から努力せよ。

正善を理想として居りながら、情慾の奴隸となり邪惡に迷ふ人間の弱點に打勝つべき力は鞏固なる實行之習慣の養成である。若し一度習慣が形成せられたなれば、對境は直に決心を喚起して實行に移り得るのである。

されば、幼時に於て善良なる習慣を養成してやがては彼の一生を通じて内在的な力で發達して行く様な性格に迄育て上げる事は、幼兒教育の重要な方面である。

此方面に就ては、次の二つの章に於て述ぶる所と關聯して考ふべきであらうと思ふ。

尙次に著者は家庭教育の實際に論及し、食事(殊に哺乳)、排便、睡眠を律動的に規則正しく幼時より習慣付ける事は、幼兒の身體のみならず精神上にも善き影響を及すと述べてゐる。其中特に注目すべきは、「是等の生理的習慣は、我々の潜在意識の上に一定の傾向を與ふるものである事は、輓近心理學の力説して教ふる所である。」との一句である。



幼児は神の如き純眞なる性情を生れながらに持つてゐるが、生後の悪影響によりて種々の憂ふべき習慣の芽が次第に生ひ茂り、遂には其純眞なる心情をも蔽ひ隠さんとする様が見られる。茲に於て、斯かる悪習の種を亡して良習の芽を培育する事は、吾人保育者の重大なる職責となる譯である。「腦細胞の不斷の再生」なる項にて述べたる原理より考ふれば、混沌たる嬰兒期を過ぎて、諸種的情緒本能欲求等が相前後して芽生えつつある幼児期こそは實に一生涯繼續すべき性格の出立點である。此時期に感じ、考へ、欲求し、實行する等の間に表はるる各自の個性は、彼等が一生涯社會に立つて活動すべき最初の方向を指示するものである。一幼児の悪癖矯正に苦心して遂に成功せられたる保姆は、實に國家教育上顯著なる貢獻をせられたる方である。此保姆の努力無かりせば或は社會に害毒を流すかも知れなかつ彼が、幼児期に其性格の方向を轉換せしめられたお蔭で如何に多くの人々に幸を與ふるであらうか。一人一人の幼児の心の中にあなたの心の面影を宿す事こそ、實に保姆たる人に與へられたる最も尊き特權である。

# 幼児の夏の病氣

醫學博士 青木醇 一

三八

小兒の病氣は季節によつて著しく異なるが殊に夏と冬はその相異が著しい。幼少な小兒の病氣の大半は急性の呼吸器系の病氣と消化器系の病氣であるが、呼吸器系の病氣はおもに寒冷の季節に流行する、そして氣候が溫暖になるにつれて追々少くなり夏になると殆んどその影を潜めるやうになる。然るに消化器系の病氣は寒い季節には極く少いが初夏の頃から盛夏にかけて日毎に多くなつて行く。そして秋冷を感じるやうになると急に少くなる。かやうに幼兒は氣候の影響を受け易いから、幼兒の健康上にはその季節によくそれぞれ適當な注意が必要である。梅雨の頃から炎夏の候にかけては

幼兒の病氣の最も多い季節である。殊に疫痢や消化不良症のやうな幼兒にとつて極めて恐るべき病氣は殆んどこの季節にのみ流行する。昨今のやうに炎熱がつくと疫痢や消化不良症で斃れる幼兒が日毎に増してくる。幼兒をもつ家庭では十分警戒しなければならぬ。

一般に幼兒の病氣は急激なものであるが、殊に夏の病氣は發病が急激である、そして又經過も速く危険なものが多い。それ故醫師の治療を受けるまでに家庭で應急の手當をしておかねばならぬことが多い。それで幼兒の急性病に就ては是非家庭でその發病時の容態と應急の手當とを心得ておく

必要がある。以下幼兒の夏の病氣に就て少しく述べて見たい。

## 疫 痢

疫痢と云ふ病氣は今日のところ未だその本態が明瞭でない。傳染病規則ではこれを一種の法定傳染病として取扱ふことにしてゐるが、果して特殊の病原菌によつて起る獨立の疾患であるかどうかに對しても隨分疑をもつ人が少くない。一部の人は疫痢は幼兒に來る急激な赤痢であると稱へてゐるが、これも必ずしも確かとは云へない。尤も一家族内で兄弟が同時に發病して一人は定型的の赤痢であり、他の一人は疫痢であると云ふやうな例も折々ある。又細菌學的検査の結果、所謂疫痢患者から赤痢菌の證明される例も少くない。これ等の事實は疫痢は赤痢の一種であるとの論者の有力

な證據とするところである。しかし疫痢と云ふ病氣は單に臨床上からのみ診斷される病氣で、チフスや赤痢のやうに細菌學的又血清學的に確乎たる診斷を下すことが出來ないから隨分その診斷の不確なことが少くない。それで極く急激な赤痢を疫痢と診斷した場合、その患者から赤痢菌が證明されたとき所謂疫痢患者からも赤痢菌が證明されると云ふ結果になるのである。かやうな譯で所謂疫痢と思はれる患者から赤痢菌が證明されたからとて直ちに疫痢は赤痢の一異型に過ぎないと結論するのは無理である。しかして實際に疫痢の症狀と赤痢の症狀とは全々異なるのみならず、一般に疫痢患者からは赤痢菌を證明することが出來ないので疫痢は赤痢とは全く別な疾患であると論ずる人が少くない。何れにせよ今日のところ疫痢の病原體は不明であると見るのが穩當であらう。

病原體が全々不明であるとすれば、その眞の原

因も不明と云はねばならぬ。しかし經驗上疫痢をおこすには種々の條件や誘因のあることは知られてゐる。第一に氣候である。統計上疫痢の最も多い季節は七月である。次で六月及八月であつて冬季には極めて少い。第二に小兒の年齢である。最も多く疫痢のおこる年齢は三歳から七歳までであるが、殊に四歳五歳の幼兒に多い。乳兒には疫痢を見ることは全くない。又八、九歳以後の兒童には極めて少い。第三に小兒の體質である。經驗上疫痢と云ふ病氣は特にある體質の小兒が罹り易いやうである。それは一度疫痢に罹つて幸に治癒した小兒が二度も三度も類似の病氣に罹ることが少くないことや、兄弟が時を異にして二人も三人も時には四人も疫痢で斃れる家庭が屢ば見られるところから何となしに疫痢はある特別の體質の小兒が罹り易いのではないかと考へられる、これに對して小兒には胸腺淋巴性體質と稱へて特に毒素や刺

戟に對して過敏な、そして抵抗力の弱い體質があるが、この體質の小兒が疫痢に罹り易いのだと云ふ説が從來屢ば稱へられた。しかしこれとて何等確證はないのである。第四は食物である。食物の不攝生は直接疫痢の誘因となることが多いやうである。實際に不消化なものを食べたり、食べ過ぎをしたりした後に疫痢になることが決して少くない。又不良の果物によることも多いやうである。例へば枇杷や櫻實を澤山食べたり、不良なバナ、を食べた後などにおこる例は屢ば見聞するところである。第五に暑熱である。夏の炎天に永くさらされて後發病することがある。第六に腹部の冷却が誘因にあると云はれてゐる。寝冷えをして腹部を冷却したことが疫痢の誘因になることがあると云はれてゐる。しかし果して寝冷え位が疫痢を起す誘因になるかどうか多少の疑問なきを得ないと思ふ。又稀に海水浴の後に疫痢になることがある



これも腹部の冷却が關係するだらうと云ふ人があ  
るが、この際はむしろ不潔な海水を多量に飲むこ  
とが更に重要な誘因をなすものではあるまい  
か。

次に疫痢の症状を簡単に述べやう。名古屋地方  
では早くより之を早手又は颶風病と呼び、熊本地  
方では急症と呼んでゐる。これによつても如何に  
疫痢の發病が急激であつてその経過の迅速である  
か窺はれる。通常これまで別に變つたこともな  
く元氣で遊んでゐた幼兒が急に元氣がなくなり高  
熱を發してくる、尤も疫痢でも時には餘り熱のな  
いこともあるが多くは三九度以上四〇度位になる  
次で吐いたり下痢したりすることが多い。下痢は  
通常初めは不消化物位で大して悪い便だとも思は  
れないが、後には粘液や膿様のものの混じた悪臭  
のある便に變つてくる。下痢の回数は一日四五回  
位のもので餘り多くない。赤痢の時は下痢の回數

は極めて多く、少くも一日十回以上時には數十回  
に及ぶことが少くない。これは赤痢と疫痢の症状  
の異つた點の一つである。その内顔色は蒼ざめ口  
唇の色は悪くなり眼つきはどんよりして來て全く  
氣力がなくなつてくる、脈を觸れて見ると小さく  
弱くそして非常に早くなつてゐる、通常一五〇以  
上一八〇位にもなつてゐる。かやうにして半日か  
一日の後には精神は朦朧として意識を失ひ遂には  
全く昏睡状態に陥ることが多い。又これと同時に  
激しい痙攣を起してることが少くない。かやう  
に疫痢では急激に心臓と腦とが犯されるので速い  
時は一晝夜以内に斃れることがある。一般に死亡  
率が極めて多く九〇パーセントにも及ぶと云はれ  
てゐる。

かやうに疫痢は極めて急激に發病し僅かの間に  
症状が險悪になるから、一刻も早く手當をしなけ  
ればならぬ。従つて醫師の診察を待つことの出來

ぬ場合が決して少くない。それ故幼児をもつ家庭では疫痢の症状をよく心得ておき疑はしい時は直ちに應急の手當を講ずるがよい。疫痢の手當としては最も大切なことは極く初期に十分腸の内容を排除することである。腸内に腐敗した食物や有毒物質が存在するとき、これが體內に吸収せられて激しい中毒症状を起すべきことは容易に想像されるからである。腸内容を排除するに最もよい方法は下劑として蓖麻子油を用ひることである。通常幼児に對して一回量一五瓦乃至二五瓦も與へればこれによつて二、三時間もしくは五、六時間後には大體腸内を一掃することが出来る。次に腸内容を排除するために腸の洗滌も大切であるが、これは多少の技術を要するから全く無經驗の人には一寸困難である。之に反して蓖麻子油を與へることは最も簡單で而も有効であるから疫痢の疑の時は先づ醫師の來る前に與へておくがよい。

蓖麻子油は小兒に用ひられる下劑の中で極く安全で又有効なところから近頃一般家庭でも廣く用ひられるやうになつた。しかし同時に又甚しく亂用される傾向が多いから一言その用ひ方に對する注意をこゝに述べておきたい。蓖麻子油は通常胃に於ては殆んど變化しない、従つて胃を刺戟することは先づない。小腸に移行して後一部は腸液によつて蓖麻子油酸グリセリンとに分解されるのであるが、この蓖麻子油酸は腸粘膜に對して極めて輕微な刺戟を與へその蠕動を亢進させ、そして緩下作用を惹き起すのである。しかし此際腸粘膜に加答兒を起させるやうな事は通常ない。又蓖麻子油の分解されない部分は機械的に腸内容の排泄を促す助けとなるものである。かやうにして蓖麻子油は小兒用ひる下劑として早速に腸内容を一掃せんとする場合には最も安全なものである。しかし如何に刺戟の少い下劑であるとは云へ、無暗に

之は亂用することは避けなければならぬ、又餘り反覆して用ひれば有害なることは云ふまでもない實際蓖麻子油の反覆使用によつて却つて嘔吐を増し、食欲の抗進を阻止し、榮養を悪くして患兒を著しく衰弱させることがある。それ故蓖麻油は疫痢や赤痢の極く初期に一刻も速く腸内容を排除する必要のあると思はれる時に、一回もしくは二回位用ひるがよい。それ以上反復用ひることは避けたがよい。又熱があつたなら直ぐ蓖麻子油などと云つて發熱の際いつでも用ひる人があるが、これらは正しく亂用であつて慎しまねばならぬ。なほ蓖麻子油はとかく飲み悪いこと服用後時として嘔吐を起させる缺點がある。しかし發病の初期に一二回與へることは左程困難ではない。番茶などに浮かして與へてもよいがそのまゝでも小兒によつては樂に飲む。又急性消化不良症や疫痢の初期には著しく渴を感ずるから番茶など、同時に與

へれば喜んでのむことも少くない。又神經性の小兒で服用を拒むやうな時には「此藥は飲み悪いが我慢して飲むやうに」などと云ふ言葉を用ひずに眞面目な態度で「この藥を飲まなければ病氣が治らぬから」と云つて與へれば幼兒と雖もよく之を理解して飲むものである。次に蓖麻子油服用後によく嘔吐することがある。これはおもにその不快なる臭氣によるものである。胃に停滞してゐた不消化物が嘔吐されるとすれば之は決して忌むべきことではなく、時には却つて胃内容を一掃することによつてよいのである。

とに角疫痢の初期には蓖麻子油を一二回丈與へて腸内容の一掃をはかるやうにするがよい。その他熱が高いやうなら頭部を氷枕氷嚢で冷し、足部を冷えてゐる時は湯タンポなどで温めるがよい。又湯を訴へる時は番茶など適宜に與へて之を醫する必要がある。かやうにしておいて一刻も早く醫

師の治療を乞ふやうにすべきである。

## 幼児の消化不良症

痲痢のやうに死亡率は多くないが夏季には幼児に最も多い病氣である。梅雨期から初秋までとかく人の身體は暑氣のために組織は弛み、機能は鈍つてくる。殊に小兒の胃腸は著しくその機能が衰へ消化力は減退してくるものである。従つて平素と同じやうな食事をしてゐても時にはそれが食べ過ぎをしたり不消化物を食べたのと同じ結果になることがある、ましてや食事の不攝生のあつた後など容易に胃腸を害して嘔吐や不劑を起すことが少くない譯である。それに夏は細菌の繁殖が速いから食物などとかく腐敗し易い、大丈夫だと思つて幼兒に與へた食物が實は既に腐敗に近く、それがために急に胃腸障害をおこすことがある。

消化不良症の症狀は色々である、極く軽いこと

もあり又非常に重いこともある。輕症の時は下劑が三四回もあつて、元氣がなくなり食欲が減る位の程度でこれは二三日も食物を攝しておけば容易に治る。しかしこれを構はず捨て、おけば次第に下劑も増し熱も出て重くなつてくる。重いものになると嘔吐や嘔氣が激しくそのため食欲は全くなくなつてくる。そしてひどく渴くやうになる。身體は非常に疲れ、その置きどころもないと云ふ様子を手足を投げ出したりするやうになる。顔貌はぼんやりして眼に生き生きしたところがなくなつてくる。そして終日ウトウト眠り込むやうになる。時折眼を覺ましたかと思ふと又すぐ眠つて了ふ、つまり著しく嗜眠状態になる。體温も大抵高く三十八度又は三十九度位になる。脈は大層速く一四〇から一六〇位になる。體温の割よりは脈の著しく多いのが此の病氣の特徴である。かやうな状態になつたものを通常消化不良性昏睡と呼ん

で居る。

かやうに嗜眠状態になるものは症状が重いのであるから早く醫師の診察を乞はなければならぬ。

しかし醫師の治療よりは家庭の注意は更に大切である。すべて消化不良症の初めには食物をあまり與へないでおくがよい。むしろ一晝夜位絶食させるがよい。絶食してゐる間に小兒の疲れ果てた胃腸は十分休養することが出來、従つて早くその機能を快復することが出来る。それで一晝夜位の絶食は大抵體溫も降り、幼兒の意識もはつきりして來て元氣が出てくるものである。食物は攝しなければならぬが、渴を訴へる時には適當に水分を與へることが必要である。嘔吐や嘔氣の多い時は渴を醫するには冷やし番茶など極く小量づつ與へておくがよい。微溫湯は却つて嘔吐にはよくない。初めは十分食物を攝しなければならぬが、輕快してくるにつれて重湯、牛乳、果汁、野菜ス

ープ等適宜に與へ早く榮養を恢復させるやうに努めなければならぬ。これ等の點に就てはよく醫師の指圖に従ふがよい。

### 藤の實

藤の實が目につくようになつた。

やはらかく生ひ茂つた藤の葉のかげが濃くなつたと思ふ中にもうあんなに實がのびて來た。

どうして落ちたものか、五六寸ばかりの實一つ、砂まぢりの地べたに落ちてゐるのを見つけてから後の藤棚のまはりは一しきり大變なさはき。

幸ひに手の届くかぎりではなく、自分達の小さい椅子に乗つたつて、棒で突つたつて容易にとれそうもないので數は減りもしない、

小さい組の子二人ばかり「もうおはいり」と云へば残り惜しげに見かへりつゝも室へとはいつて行く。大きい組の五六人はどうして、どうして、たう／＼先生を引ばつて一つ我がものとせではやまぬと云つた勢で先生をせびつて居る。先生が椅子に乗つて、ありつたけせいびをしてやつと落した一つを誰の物とする迄にかなり長い間かゝつてゐるようだ。丁度これが眞正面に見える室に居るので帽子もかぶつてバスケットもさげて歸るばかりで居ながらこの様子が何だか面白くていつ迄も見て居た。

(よし子)

# 自然物を額に應用することについて

神戸幼稚園 望 月 ク ニ

私は此年になるまで餘り多く名畫を見たことが

ありませぬ。有名な西洋畫でも眞物でない印刷物

ではどうも其美に打たれることが出来ませぬ。毎

年の帝展や國展などでも眞に心から感動すること

が尠いのは全く私は憐れな感受性の不充分な人間

なのでせうと深く思ふことがあります。多くの人

は景色のよい處を見るとこれは繪に書いた様に美

くしいと申しますから、繪は實に自然の美をあつ

めたものに相違ありませぬが貧乏な私共はとても

左様な良い繪を求めることが出来ませぬから、せ

めて自然に接してのみ得る澄み渡つた様な靜寂な

氣もちを表はしたいと思ひまして、自然物を以つ

て來て額を作つて見ました。

自然物を額に入れるには普通の額縁、裏に細い

木を打ちつけて、部を厚くし紙の代りに綿を敷

くことを考へました。此綿を入れるのは平面で

ない厚みのある木の實や木の枝を入れるに凹ま

すことの必要があるからであります。方法は先

づ普通の額の裏にする板を置き其上に適當な厚

さに綿を敷き其の綿の上に實物を按排して構圖

を爲し出來たときガラスを其圖の上に載せソツ

と額縁をかぶせるのです。然して之を動かさぬ

様に裏返し釘で裏板をとめます。其出來上つた

時のいき／＼したすが／＼しさは何とも云へま

せぬ。

親友膳まき子姉は自然物利用の先覺者であります。同姉と山に野に遊ぶときは一步一步名もわからぬ様な草や花石や木の實貝など何でも彼でも拾ひ取られやがて其れが美化されて膳姉獨特の壽と調和して美しい可愛らしい恩物となります。無風流な私もいつの間にも姉の感化を受けた爲でせう、自然に夫が面白くなつて來ました。昔時から水は方圓の器に従ひ人は善惡の友によると申します。朱に染れば赤くなるなどよくいふたものです。私も丸い小さい果實を見たりすれば人の顔にしたくなり、ユウカリの實は帽子、牛の毛草は蓑になるなど際限もなく考へさせられます。

先日臺灣から木瓜を貰つて食しました。其種子が實に澤山で黒く小さく金平糖の様なので何かになると大切に置き置きました處早速粘土のお猿の眼にもつてこいでしたし、自然物の額の花

壇の輪廓には丁度よろしく雅味がありました。

かく見るものゝ凡てが我藥籠中のものになるやうな氣がしまして、一草一木一果一石が生きて來て我用をまつかと思はれます。夢中で子供と共に作つた其圖案其れは人から見れば極めて拙い下手なつまらないものかも知れませんが、自分としては苦心すればする程ミレーの作にも勝つた様な嬉しさで、田中、松永等の先生たちと澤山作つて見ました。おもしろいものです。

併しながら生物のは其生命を失ふと共に色のあせることが悲しく感ぜられます。

七面鳥を思ひつきバラ、金仙花、矢車、パンジーなどの花瓣で作りました。パンジーの紫はピロイドの羽の様で首の廻りやさかばはバラの眞紅や淡紅色で目も醒むる斗り、眼は藤の實、足はエニシダの實、嘴は藤の實のさや、出來上つた時の盛装はとても實物も及ばぬばかり、美し

さに一同驚喜いたしました。飽かず眺めてゐましたが、五六日するとバラの花から變色し、次第／＼に鳥が生命を失ひかけて來ました。私共は落膽いたしました。今度壓し花にして見ましたが夫れは大分長く保ちましても、生花の様な清新さがありませぬ、自然のものをを用ふることの第一義は其清新さにあるのでありますからこれは先づ失敗の部に入れました。

私共は負惜しみを申します、「生物の額は度々取の替へて新鮮な處に生命があると」しかし紅葉や縁葉でしたものは己に一年になつて猶色あせぬのがあります。概して黄色の花は變色し難く随分長く保ちます。種子や貝で作つて置けば百年でも大丈夫であります。

幼児に草など取らせて額を作つて居れば必ず幼兒は感心して「先生はお上手ね」といふて賞めてくれます。小さい一葉、細かい一果も大切になり

ます。

斯くして自然物を扱ひますことは觀察などと云ふむづかしい智識の事ではなくて、人と自然とが相愛しやつて、そこに一種云ふ可からざる親しみを生じますので、構圖は拙くてもそんな事は問題ではなく、下工程却て雅味がある位であります。

むかし西行が、

ここにまたわれすみうくてうかれなば

松はひとりにならんとすらむ

とよみし心もちがよくわかる様な氣がいたします。

子供と共につくつた自然物の額説明(口繪)  
材 料

子供の帽子(金仙花を壓したのもの)

小さい子供のかほ(白い貝)

子供の着物は(赤色のもみぢの葉)

蝶は貝と(もみぢの花と實)

紅葉の木の全體とくさは凡て實物

かきね(糸と牛の毛ぐさ)

かきねと草だけ子供の作他は保母の作



# 保育手帳から

東京府女師附屬幼稚園 卜 部 た み

歌子「先生、きのふ淋しかつたでせう。」

「……………」

歌子「歌子ちゃんがないでね。」

「ええ、どうなさつたの。」

歌子「歌子ちゃんねえ、お咳をひいたので休んだのよ。」

「もうすつかりよくなりましたか」

歌子「もういゝの。」

「まあよかつたこと。」

是は缺席した幼児と翌朝下駄箱の前に迎へ出た私との問答で御座いました。「先生淋しかつたでせう。」何といふ天真な挨拶でせう。

眞の子供を知り、本當の幼児を育てようと力める私共は、常に學者の教へを學ぶと同時に、絶えず幼児そのものから學ぶべきを一刻も忘れてならない事は申す迄ありません。どんな心理學書にも教育書にもあまり見られない實例や教訓は、子供と毎日を送る私共のみに豊富に恵まれて居ります。

幼児の質問も記してみました。満四歳以後から入つてくる私共の園の子供は、比較的獨り合點の時期になつて居て、それ以前の家庭に於ける時代の方が面白い保育の時機であらうと思ふ事が度々御座います。

主に幼児の話、幼児相互の間答、幼児との對話に特に心を配つて居りますが、是に就ての考へ方は御承知の通り幼稚園雜草中「個人對話の教育價值」の項に於て、倉橋先生が心ゆくばかりにお教へ下さつてあります。

○

五月七日(食事中の間答) 隆夫(四年十ヶ月)

勝美(四年十ヶ月) 泰郎(四年十ヶ月)

寛(五ヶ年) 勉(五年一ヶ月)

牧一(四年六ヶ月)

(泰郎が机上にちかにパンを置いたので注意を與へた事から初まる)

泰郎「パンは机の上に置いてちやきたないよ。」

牧二「此の上(ふきん)に置けばきたないね。」

寛「お辨當だつてそうだよ。」

泰郎「ごはんはくつつくよ。」

牧二「机にはバイキンが居るんだよ。」

勉「水の中にも居るよ。」

勝美「居ないよ居ないよ。」

泰郎「居るかい。(勉にきく)」

勉「居るよ、けんぶ鏡をのぞいた時居たよ。」

隆夫「おちやとう(砂糖)の中には蟻が居るよ。」

寛「蟻は殺せばい、ちやあないか。」

牧二「蟻を殺しちやあいけないんだよ。」

此時他の子供の要求のたら餘義なくその先きを聞きもしましたが、それから蟻を殺すの可否に就て盛んに論じあつた様子で御座いました。幼児の觀察に就てもその考へ方に取扱ひに是等の間答から種々の暗示を與へられるので御座います。

○

五月廿九日(食事中の間答)

泰郎(四年十ヶ月) 勝美(四年十ヶ月)

泰郎「勝美さんのは赤いごはんだ。」

勝美「赤いごはんぢやあないよ、シヨウガが赤いん

だよ。」

泰郎「シヨウガが赤いから、ごはんが赤いんぢやあ  
ないか。」

勝美「そいぢや、シヨウガとごはんとおんなじにな  
つちやうよ。」

泰郎「シヨウガが赤いから、ごはんだつて赤くなる  
んだぜ。」

寛「あつ、あれさあちやん(貞夫)の畫なの、うま  
いね。」

○

此の時代の子供の奔放な奇想天外よりおつとい  
つた想像は、遊びに繪にお話によく現はれますが  
對話のうちにも亦現はれる事が多う御座います。

五月九日(十二年度の分から)(食事中の問答)

順一(四年二ヶ月) 澄子(五年)

愛子(四年五ヶ月) 貞子(四年四ヶ月)

其他

(女の子六七人の中に順一といふ男の子一人交つ  
て食卓につきました。)

澄子「女の仲間に男が一人。」(他の多勢も相和して  
よびはやす。)

貞子「あら男だつて毛を伸ばせば女になれるわよ。」

愛子「え、さうよ。順ちやんだつて毛を伸ばせばい  
いわねえ。」

順一「ああさうだよ、男だつて毛が長くなれば女に  
なるさ。僕だつて此の毛が(頭上に右手をの  
せる)長く長く伸びてさうと高く天までいく  
だらう。(頭上の手を高く上へ背のびし乍ら揚  
る)そうすると、あつちから飛行機がゴーツ  
て来て、ドーンと衝突するだらう。(頭上高く  
両手を打ち合せる。)そうするとドブーンつて  
海の中におつこつちやうよ。(両手を強く下へ  
おろしてお辨當をたべ初める。)

きいてゐた他の子達すまして箸を運ばせてゐま

す。暫くたつた後、

澄子「あらつ。さつき毛の話をしてゐたんだわねえ」

○

五月廿四日（食事中の問答）

貞夫「四年五ヶ月」 勝美「四年十ヶ月」

（同じ食卓の先生のお辨當を見て話し出す。）

勝美「先生のお辨當箱大きいね。」

貞夫「先生は大きいからよ。家の姉さんののも大きい

よ。お茶の水に行つて居るのは其れより大きいよ。」

いよ。」

勝美「どの位大きいの。」

貞夫「とてもく大きいの。」

勝美「此の位？（両手を一ぱいに擴げる）そいぢやあ

空の様に？」

貞夫「空一ぱいだよ。」

勝美「外に置かないと空の様だから家へつつかへち

やふよ。」

貞夫「學校に行かない時は洗つて手で空の方へははると、ポーンと空の中へ入つちやふよ。」

勝美「人間でも入れるの、ふたがどの位大きいの。」

貞夫「日本中大きいの。」

次の問答は私と幼児との間にははされたもの。

幼児は大正十二年四月から十三年三月の間に出生の者。是等により家庭生活或は社會生活が幼い子等のあたまにどう映じてゐるかかうかはれます

○

六月十二日（食事の時）（食卓を圍んだもの男八

名、女一名、私）

勉「先生、僕のお父さんはもうせん陸軍だつたの

僕陸軍よ。」

私「皆さんは、大きくなつたら偉くなるのでせう

ね。」君夫さんは。」

君夫「僕大將。」 勝「僕も陸軍。」

寛「僕は海軍よ。うちのおぢさん海軍ですよ。」

誠「僕お醫者様。」 貞夫「僕は運轉手になるの。」

私「何の運轉手？」 貞夫「貨物自動車の運轉手よ。」

勝「秀子さんは女だから兵隊になれないねえ。」

寅「女はお嫁さんだね。」 秀子「ウム。お嫁さん。」

勝「卜部先生も女だからおよめさんでせう？」

私「……………男はお嫁さんになれないのね。」

誠「男はおむこさんですよ。」

夏生「僕は先生ね、飛行家よ。」

○

六月十四日(食事の時)(年齢前におなじ)

泰郎「先生、僕三輪車買ったから、うちは狭いけれ

ども見に来て下さいね。」

夏生「僕ももつてるよ。」得意げにいふ。他の子達の

顔色をみて。

私「お家で買つて下さるのはよいけれども、矢鱈に人のまねしてあれ買つてよう等とおねだり

しないのがよい子ですね。」

勝美「でもね、うちのお父さんはとつてもお金持だ

から何でも買つてくれるので、僕いつも買つ

て貰ふ物を考へてゐるのよ。」

貞夫「うちぢやあとても貧乏だから、何にも買つて

もらはないの。」

私「あら、そんな事はないでせう。」

貞夫「僕は金持なんだけれ共、親の方が貧乏なの。」

私「うして親の方が貧乏といふ事がわかるの。」

貞夫「それはね、人が来てお金を拂ふでせう！そ

の時だん／＼少なくなつていくでせう。だか

ら貧乏なのよ。」

私「親つてどなたが貧乏なの。」

貞夫「お母さんよ。お母さんが随分貧乏で何もかつ

て下さらないの。」

私「あなたはお金持でそれをどこにしまつてあるの。」

貞夫「茶單筒の上にね、箱があるの。一錢ばかりよ

せんは郵便箱だつたけれ共今度木の箱なの。」

私「それは使はないの？」

貞夫「ためておいて大きくなつてから使ふのよ。」

私「何を買ふのでせう。」

夫「普通の靴よ。……雨の降らない時に穿く靴」

(後略)

六月十三日(食後)

新聞紙を片附けながら張作霖の事支那の戦亂の記事寫真等があつたので

私「此の新聞は、戦争の事が澤山書いてあります

よ」

泰郎「先生ロシアとの戦争でせう。」

私「あさうだね。先生ロシアでせう。」

私「いいえ。」

泰郎「うん。亜米利加だ。アメリカが日本に降参するんだよ。」

私「それはね、支那の國中のわからずやの人が居て、亂暴してよい人や日本人を困らせるから『およしなさい』といったの。それでもどうしてもやめないで日本の軍人さんが出かけて行つたのです。」

勝善「先生、戦争で支那の頸を切つてしまふのでせう。支那が日本人の手をちよつと位一兩手で一寸位の中を作つて）切つても、日本人は強いから支那の頸をドンと切るわね。」

私「戦争つて頸を切るものぢやあないんですよ。」  
 齊「僕知つてるよ。勳章もらふためにするんだよ」



# 幼児の手技に就いて

久門嘉祐

## 一、幼稚園の手技

(イ) 幼児の手技  
(ロ) 先生の手技

従来幼稚園の手技は「幼児がするもの」「幼児の出来るもの」「簡単なもの」………こういう考が頗る濃厚で簡單といふ垣根を一步も踏み出すことのできぬ派目に陥つて居るのではないかと思ひます。こうして幼稚園の手技は繪にも唱歌遊戯にも童話にも先立たれて獨り取り残されて居るやうな憾があります。世は進んで居ります。時々刻々に新しい生命に生きて居ります。幼稚園の手技も一步だけ新しい世界に踏み出したものと熱望する次第であります。全體其の簡單といふことは何處を基

準として言ふのでありませうか、頗る曖昧なものであります。勿論幼稚園でありますから簡單でなければならぬことは言ふまでもないことであります。年齢も智慧の進度も身體の發育も趣味も傾向も各其顔の異つて居る如く一人一人異つて居ります。其上家庭で教育的に仕付て行く家庭と一方向子の世話の行き届かない家庭とがあり、又各其環境が異つて居ります。同一のものを一様に出來やう筈がありません。それを簡單といふことで統一してさせたならば發達の高級なものも犠牲にならなければなりません。又最低級なものも到底追ひつくことが出來ぬのであります。統一教育の

弊其ものに陥るのであります。これについて左のやうな事實のお話がございます。「或お祖母さんがお孫さんを連れて入園させる積りで或る幼稚園へ行きました。丁度手技の時間で折紙を教へて居られました。先生が檀に立つてこう三角に折つてそれから四角にして出来ましたか、それからかやして、それからこうくくく始めの三角四角まではまだよかつたが、段々に手が細かくなる目標は小さくなり先生の口は早口になる、これでは子供に可哀想で孫などはちとぼんやりでございませぬから萬事にこういふ風ではとても駄目と存じ入園の願をせずに其の儘連れて歸りました」といふことであります。幼稚園に統一教育は禁物であります。それが只簡單といふだけで統一すると自然に此の弊に陥り易いのであります。全體手技は決して頭でするものではありません。讀んで字の如く手先の技でありますから、無理に簡單く

と言ふてゐないでも各兒の出来だけ天分だけすんくく伸ばして差支あるものではありません。試に繪の上手な先生が幼兒の繪を指導するのを御覽なさい。些の無理はなく、自然に非常に面白くすんくく進んで、中には幼兒のかいたものとは思はれぬ程の繪をかくものも出来る位であります。又粘土の上手な先生に自然に幼年彫刻家といふ面影を其の作品から見取ることの出来る程の彫刻を出して居ります。音樂に堪能な先生は自然幼年音樂家を作り、童話に堪能な先生は幼兒を自然にお伽の金殿に安住せしめて情操の機微な點を修養せしめて居ります。又手藝に趣味のある先生は其の優美な手によつて可成立派な手藝品を作らせて居ります。よい先生につけば、子供は自然によくなります。子鶯によい鳴を仕込むには是非共よい鳴親につけるのであります。けれどもよい鳴親といふても別に教へ方が上手なのでも勿論無理強に教へ込



むのでもありません。只終始自分の持前の通り鳴いて居るのであります。それを子鶯はいつどう覺えたでもなく自然に覺え込むのであります。右の如き堪能な先生の指導法は丁度これによく似て居ります。其技能にまかせてむりやりに教へ込むいら／＼あせるといふのでは決してありません。只ニコ／＼してゐます。けれども其先生は心もそれに打込んでゐますから自然に其の趣味が其の室内に充滿して居ります。其の氣分が漲つて居ります。そして用意が周到で教へる順序が整然としたものであります。其の上其の先生は其の資料を如何様にも分解し、或は部分／＼を組み合はせ、或はそれを變化せしむることは自由自在でありますから、各兒に適する仕事をすぐにあてがふことは出來ます。故に極々簡單なものをこしらへて居るものもあり又大分進んだものをこしらへて居るものもあります。其の各が満足して面白くやつて

居るのであります。そして先生も一しよになつて何かこしらへて居ります。こしらへて見せるでもなく自然に見せて居ります。以上のやうな一々結構な方法で幼兒の一人一人の天分を充分に伸ばして居られます。

さて我々が各専門家の眞似をすぐにしようとするのは非望であります。出来るだけはそれと近接したい、そして保育上充分の効果を收めたいと思ふのであります。

#### 一、新しい自信

幼兒の手技じやからといふて、決して馬鹿にする譯ではないのであります。どうも先生の頭が不用意といふことはあり勝ちと思ひます。この状態では幾ら向ふが幼兒でも已に手技の保育には外れて居るのであります。一寸した何の易しいと思ふ程のものでも、明日やることは少くとも其前日位には先生自身が一應こしらへて見

る。そして新しい自信を持つて明日臨むことが是非必要であります。古い自信といふものは存外駄目なもので、何か變つた問題が突發した場合に即妙の考が出るものではないのであります。一度やつて見て充一分に咀嚼し自信を新しく一層力強くし、尙其の間に材料のこと準備のこと教へる順序、用する時間等種々の方面に仔細に研究し明確な頭と方法とを有つて幼児の手技の實際に對するやうにしたいと思ひます。

## 二、資料の取扱

費用や材料のこと、時日のこと等を考へた上で選定した資料はどんな簡單なものでも必ず一度作つて見る。そして如何にしてこれを幼児に作らせしむるかといふことの具體案を作るのであります。(イ)これは材料を出して置いて幼児に自由させる。(ロ)全園児に一樣にさせる。それには最幼児には大きな子供に手傳はせる、作

らせるとか先生が側で作つてあげる。(ハ)又資料によつては幾部分にも分解して其の部分Aは誰々々には出來Bは誰々々Cは誰々々Dは誰々々最後の仕上は先生がといふ風に各兒の實力に應じて各部分を分擔せしむる。(ニ)こうして組の共同製作にする。といふ風に製作法を研究して置くこと。

## 三、手技の監督

さて幼児の手技の實際となつて材料の分配等諸準備が終つたならば先生も幼児と一しよに一つこしらへて飾つて置くやうにしたい。そして先生は幼児の間をニコニコ廻はつてちよいち指導をする。併しこの指導は幼児の質問には固より親切に答へるのであるが、其製作には干渉をせず全然幼児に任せたい、只手つき指の動かし方、或は道具の持方使方、或は色といふやうな方面を主としたいものでありせず。

#### 四、先生の手技修養

前述の如く幼児にさせる手技は即ち前以て先生がそれに熟練して置かねばならぬのでありあります。それから、幼児の手技即ち先生の手技であります。けれども只それだけでは幼児の手技を指導するには不足であります。幼稚園の先生としての手技の手腕は餘りに貧弱であります。慾を言へば普通婦人としての手藝趣味に於て世間に遅れぬやうにしたい、少くとも幼児向の物でうちのお母さんお姉さんがこしらへて下さつた物が餘程立派だなどと幼児に思はせない程度に進みたい。而してこれは只幼稚園の保育の上の必要ばかりでなく、先生自身修養の爲に精神的慰安の爲に娛樂の爲に是非そうしたいと思ふのであります。

#### 五、幼稚園の裝飾

幼稚園は殊に殺風景ではならぬと思ひます。何

とかして優美にそして可愛い雰圍氣にしたい。

お庭にぶらんこやお砂やお池に金魚を泳がせ花園を作り、其外可愛い面白さうな玩具運道具を設備するもよい。又室内には奇麗なお花を活け面白い玩具を置き、繪畫額をかけるもよい。可愛い椅子テーブルを置もよいが今一つの非常に大切なことは幼児のかいた繪を貼り出し、或は幼児製作の手技品を陳列することであります。第一幼稚園が直に可愛化され、美化されます。幼児は非常に嬉しがり又毎日それを見ては樂しむものであります。次には幼児の張合になり、迫らない不斷の刺戟になり、それが直に各兒の最美の指導ともなるのであることは、殊更に申上ぐる程のことでもないのであります。

#### 六、先生の製作

幼稚園の先生が其趣味に任かせて製作した其の作品を幼稚園に装つて置くことはこれは非常に

結構なことであります。そしてこれは時々取り換へたい。自然に興味が室内に流れ出て和らかな美しい空気にし、幼児の趣味傾向に對して好餌を投げ與へて居るのであります。又それが直に幼児の觀察の好資料となり、又幼児の特技を自然に指導をして居るのであります。物を言はぬ先生、不動不斷の先生であります。これが買つて來たものや理想の低級な職人に作らせたものでは決して其權威がないのであります。

#### 七、家庭の幼稚園化

全體幼児は幼稚園と家庭の二重生活をして居るのではないでせうが、尤も生活がちがひますから止むを得ぬことではあります。併し現在の状態は遺憾ながら餘りに離れ過ぎて居ると思ひます。幼稚園へ來て居るときも家庭に居るのと大して異のない氣分にしたい。又家庭へ歸つて後も幼稚園にゐるときと大した相違はないやう

にしたいと思ひます。それが幼稚園でおとなしく先生の言ふことをよく聞いて友達とも喧嘩をしない眞面目にやつて居るが、家へ歸へると大いたづらで、といふのもあり又家ではなか／＼元氣でおしやべりもよくするが、幼稚園へ來ると意氣地がなくて黙つて物も得言はず小さくなつて居るといふのもあり、幼稚園では行儀がよいが家では行儀が甚だ悪い、家ではよく唱歌も謠ふが幼稚園では一向謠へない、幼稚園では物をちやんと始末するが家では甚だ不始末である幼稚園ではお兄さんでよくわかるが家では甘つたれてから赤ちやんです、以上のやうなことはまだしものことであります。幼稚園と家庭との縁の薄い關係の冷かであればある程幼児の發育上もつと／＼重大なことが伏在して居ると思ひます。これは是非何とか救はなければならぬと思ひます。それには幼稚園をもつと家庭化

し、又家庭を幼稚園化する必要があらふと思ふのであります。其の一つ方法として幼児の作ったものを時々お土産に持たして歸すのは勿論必要であります。又先生が何か幼児の喜ぶやうな奇麗な物をこしらへて幼児のお誕生のお祝品として、或はお正月お盆のクリスマスのお贈物として、或は三月五月のお節句のとき、或は式日記念日等の場合にお土産として持たして歸すといふことは非常に必要なことと思ひます。幼児が非常に喜ぶのは勿論のことではありますが、これが家庭に大事に飾られて直に家庭を美化し可愛化し幼稚園化するものであります。そして幼児は勿論であります。家庭の誰でもがそれを見る度毎に幼稚園を思ひ出す。其都度幼稚園に對して優美なあたゝかい感じを持つといふことになり、自然に家庭内は幼稚園氣分で充滿するといふことになるのであります。其の上に婦人

は全體に手藝を好むもので先生の手藝品から自然に先生を敬服するやうにもなるのであります。茲に初めて幼児の二重生活といふものは自然に徐去されることになると思ふのであります。實に偉大と言はねばなりません。(つゞく)

## 七 夕

藤 原 顯 輔

天の川横ぎる雲やたなばたの

空たきものよけぶりなるらむ

西 行 法 師

舟よする天の川への夕ぐれは

涼しき風や吹き渡るらむ

## 或る夜のできごと

新庄よしこ

よるになつてまつ暗な時に、

幼稚園の物置のすみつこでこんな話聲がきこえます。  
ます。

兄さん鼠と妹鼠と。

「ちうちやん、ちうちやん、ちよいと」

「なあーに、兄ちゃん」

「何だか變な音がしやしないかい」

「おお、こはい、なんでせう」

「なんでも、きやろくくつてきこえるの」

「こはい、兄ちゃん」

「そら、きこえるだらう、しづかに、しづかに」

妹、耳をすましてききます。

「あら、ほんと、私にや、けつけつけつてきこえるけど」

「そうかい、いろんなふうにきこえるんだね」

妹は兄にかちりつきました。二匹の兄妹鼠はちつと又うづくまつてきいてゐました。

ほんとに、ときく聞えます。

たしかに幼稚園のどこの室できやろくともけつけつともきこえます。

兄さんは決心しました。

「僕、行つて見てくる。」

「あら！ 見に行くの！」

「うん、だつて、僕、何だか見てくる」

「おばけかしら」

「今頃おばけなんか居てたまるか、大丈夫だ」

「だつて、氣味がわるくて、私行くのいや」

「いやならおよし、一人で待つて来る」

「ぢや兄ちゃん、棒か何か持つて行くといい、もし怖いものだつたら大急ぎで逃げていらつしや

いね」

兄さんは割箸を一本しつぽにからんで、そいつとそっきやろくくけつけつ音の方に出かけました。

一番目の室は何にもきこえません。

二番目の室も、

三番目の室で、丁度鼠がその室に行かうとした時にきやろくくが始めました。兄さんは思はずドキツとしましたが一生懸命強くなつてしばら

く様子をきいてみました。

その時又きやろくくどうも怖い様でもありません。兄さんは段々氣が大きくなつて鍵の穴からそいつとのぞいて見ました。

そこには思ひもよらないものが居ました。

「なあんだ、蛙だ、蛙だ、一體どうして来たのだらう」

ちよろくくかけて妹のところに行つて、

「ちうちやん、く、何でもないので、蛙だよ、蛙だよ」

「あらそう、なあーんだ、私、蛙なんかちつとも可怖かないわ、私より小ちやいもの、どこなの」

「あの、コロンくくつていふ音がするものがあるだらう、ピアノとかいふものね、あの室だよ、こゝから三番目の」

「だけど、どうして蛙なんか居るんだらう、行つてきいて見ませうよ、二人で」

廻轉窓のすき間から兄妹はする／＼と室にはいりました。

蛙はびつくりして、びよこん／＼とあつちへまご／＼こつちへまご／＼してゐます。

「あの、かへるさん、私達はこはくないのよ、いぢめないのよ、おはなししませう」

「そうですか、ほんと、かぢりやしないの」  
「大丈夫、安心してこつちへいらつしやい」

鼠と蛙はお話します。

「どうしてこんな所に來たの、かへるさん」

「私、さつき蛙になつたばかりなんです」

「あらおかしい、變ね、どうして」

「どうしたの君」

「今朝迄あの硝子のおけの中にはいつて居たおたまじやくしなんですよ、それがね、おひる頃から何だかかう體中に力が一ぱい出て、急に飛んで見たくてたまらなくなつたので、一二のさーんで飛び

出して見たらもう蛙になつて居たの」

「へえー！」

「とび出してびよこん／＼飛んで見たけれど、どこに行つたらいゝかと思つて寂しくつて／＼泣いてしまつたんです」

「まあ、まるでおはなしのようね」

「それちや君、こゝの幼稚園には先から居たんだね」

「えゝ、始めはどこかのお池の中に居たら誰かがここへ連れて、この柵の上にもうずる分長く居ました。毎日／＼お子さん達にして居る事ようく見て居たの」

「そう」

「今迄はお友達と一緒にだからよかつたけれど、私が一番先にかへるになつたものだから、どうしていゝかわからなくつて泣いて居たんですよ」

「ぢや、お池に連れていつて上げませう、こつちへいらつしやい」

藤棚のそばの、金魚や龜の子の居るお池に蛙を連れて行つてやりました。



# 裸ん坊

水島 さゆり

雷を真似て腹掛やつとさせ

「坊や腹掛をなさい。」

「さ、いゝ子だね、腹掛しませうね。」

「ぼんぼんが痛くなりますよ。」

「ワンワンが管めに來ますよ、さ、いらつしやい。」

「ニヤアニヤがひつかきますよ。」

「そら、ゴロゴロ様ですよ坊や、さあ大變、ゴロ〜ツ、ガラ〜ツ。そうら大變、お臍、お臍、早くお臍を隠さなくちやあ。」

すつてんてんの自由の天地を面白がつて、何と言つても腹掛をさせなかつた坊やも、ゴロゴロ様と聞いて、忽ちひそまつて言ふ通りになる。

川柳はうまい所を掴んでゐる。

裸の子おもしろがつて逃げるなり。

著飾つて乳母は裸を追ひ廻し

何れも子供の裸が躍如としてゐる。

裸は自然である。エデンの國では、アダムもイヴも裸であつた。禁斷の木の實を食べてから、裸を恥ぢるやうになつた。子供は清淨無垢である。禁斷の木の實を食べない神の子である。裸を喜ぶのは當然である。

だがエデンの園ならぬ此の世では、木の實を食べた罪びと達が、着せようとして裸を追ひ廻す。着るまいとして裸は逃げる。逃げてても逃げおほせず、罪無くして罪の子の布を纏ふことを餘儀なくさせられる。

此處に一人の例外がある。ベルギーのブラッセル市廳に近い四つ辻に立つ、所謂小便小僧のマニケン君である。マニケン君は奇抜な噴水として廣く知られてゐる裸ん坊の銅像で、もう三百年もの永い歲月を、晝夜の別なく、都大路に噴水のオシッコを垂れてゐる愛嬌者である。

傳へる所に據ると、さる王様の愛兒が、或時するりと王宮を抜け出して、行衛不明となつた。宮庭では上を下への大騒ぎとなり、大勢が血眼になつて捜し廻つた所、此の四つ辻で、騒ぎをよそにのうのう

と立ち小便をしていらせられた。王様は喜びの餘り、之を記念にして、王子の愛すべき姿を永久に留められたと言ふことである。

逃げ出した裸が、足を留めて小便をしてゐた。何と面白いではないか。小便小僧マニケン君が、自國の人々から愛せられるばかりでなく、今では世界中の人々から愛せられるのは偶然ではない。

我が日本からも先年挑太郎さんの陣羽織などを贈つて、大いにマニケン君の健在を祝したのであつた。マニケン君はルイ十五世から何とかいふ勳章を頂いたこともあるし、或革命の起つた際には革命黨員の用ゐた服を着たこともあるそうである併し眞裸が本領であるマニケン君は、どれもすぐに脱ぎ捨てたことであらう。

何と可愛い裸ではないか。

似寄つた話は何處にもあるものと見えて、私の弟にも裸の思ひ出話がある。尾張津島の天王祭と言へば、相當に名高いもので、當日は遠方の國々からも夥しい人出がする。

其の祭觀に町へ連れて行かうと、風呂から出した弟が、着物を着せようとする姿が見えない。まだ履物の穿けない兒が、裸の跣で何處へ行つたとも知れない。兩親を始め、所處の人々まで騒ぎ出して、隈なく捜して見たが見附からない。父も母も青くなつた。

すると思ひがけない方面で、出入の男の一人がつかまへて來た。

私の村の前の街道は、十數町を隔てた津島町への通路であつて、其の日町へ町へと押寄せる群衆が、道も狭しと流れて行く。此の流れに逆つて、反對の方向に歩かうとしても、それは到底不可能である。

其の街道まで家から數町あるが、その數町はいゝとして、例の街道を、しかも激流のやうな人の波に逆つて、三四町といふものを、どうまあ泳いで行つたものか、裸ん坊は隣村に入る技道の別れ目で足を留めて、ブラッセル市のマニケン君そつくりの姿で、立ち小便をしてゐた所を、つかまへて連れもどされたのであつた。

## 會 告

本會機關雜誌『幼兒教育』は編輯の都合により八月號と九月號とを合し倍大八九月號として九月十五日に發行いたします。従つて八九月號は定價七拾錢となりますし會員の方は二ヶ月分會費を御支拂になることとなります。豫め御承認を願ひます。

昭和三年七月一日

日 本 幼 稚 園 協 會

蛙と蜘蛛

文部省唱歌

1. シーダレヤナギニトビツクカヘル  
 2. かぜふくこえだにすをはるこぐも

トシテハオチオチテハトリ  
 はつてはオキレオキれてははり

オチテモオチテモマタはるほどに  
 オキれてもオキれてもまたはるほどに

トウトウヤナギニトビツイツタ  
 とつとつこえだにすをはいつた

蛙と蜘蛛

一

しだれ柳にとび付く蛙

とんでは落ち落ちてはとび

落ちても落ちてもまたとぶ程に

とうとう柳にとびついた。

二

風吹く小枝に巣をはる小蜘蛛

張つては切れ切れては張る

きれてもきれてもまた張る程に

とうとう小枝に巣を張つた。

# 蛙と蜘蛛

土川五郎振

一、しだれ……………兩手を兩側より體前にまとめ

柳に……………左足を引き兩膝を少しく屈し兩手を後ろに上體を前に屈す

とびつく……………左足を一步左へ上體を左に傾け顔は左上に向け兩手を左上方にあげて枝につかまる

如くす

かへる……………上體を右の方に兩手を右上にあげ、顔は右上に向け跳びつく如くす

とんでは……………跳上ると共に一度下ろしたる兩手を兩側より頭上にあげて右手上左手下にて握る

落さ……………兩膝を屈し兩手を後ろに上體を前に屈す

ち落ては……………一跳躍兩手を頭上に前の如くす

とび……………(落ち)と同じくす

おちても……………跳びて右向をなし兩側より上へ軽く握り更に前より下ろし

おちても又とぶほどに……同じことを繰返しつつ右に廻はり四回にて正面に復す、恰も兩手は絶えず廻轉する如くして廻はる

とうとう……左足一步前右上を見て拍手一回

柳に……右足一步前左上を見て拍手一回

とびついた……左足一步前上體を前に傾け胸は左に向け顔は後方上に向け兩手は前上方に伸ばし

兩手にて枝を握りたる如くして右足にて跳ぶこと三回

一、風ふく……握りたる兩手を開き右上より左下に流しつつ小足にて後退す

小枝に……左上より右下に流す後退前に同じ

巢を張る……右足を引くと同時に右向をなし下げたる兩手を柔かに少しく左右に開き直ちに右足を

を左足に引きつけ、兩手をまとめ(此の時兩手拇指と食指とにて輪を作る)

小ぐも……左足を引き左向兩手を少しく開き直ちに元に復す

張つては……左足大きく左へ上體を左に傾け顔は右上に向け兩手を上より大きく左右に開き左手

は左肩よりや高く右手は右肩の高さよりや低き所にて止む

切れ……體重を右足に移し上體を右に傾くる時兩手を體前上方にまとめて拍手一回(手を打ち下

ろす)

切れては……………顔を左上に向け兩手を上に更に左右に開き(張つては)と同じ形をなす

張り……………前の如く兩手を打ち下ろす

切れても……………右足を右の方へ右手を前左手を後ろに開き頭を前に傾く

切れてもまたはるほどに……………左足を出し左手前右手次に右足次に左足にて同じことなして四回に

て廻り正面となる

とうとう……………全生連手し左へバランス一回

小技に……………右へバランス一回

巢を張つた……………左足より二歩最後に連手したるまゝ手を上にあげ上體の後屈を行ひ上を見る。



文部省主催

# 幼稚園保姆の講習

六月二十九日(金曜日) 官報に發表さる。

## (一) 東京女子高等師範學校に於て

期日 七月廿六日より同月三十日まで、

講師及題目

東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三

一、保育作用ノ積極的方面(四時間)

同

堀 七藏

一、保育事項中ノ觀察(六時間)

東京女子高等師範學校助教授 三浦ヒロ

一、幼兒ニ適スル遊技(十二時間)

## (二) 奈良女子高等師範學校に於て

期日 七月二十九日より八月四日まで

講師及題目

奈良女子高等師範學校教授 森川正雄

一、幼稚園保育法(六時間)

幼稚園ニ於ケル生産的方面ノ教育ニツイテ

同

桑野久任

一、幼兒ヲ導ク人々ノ爲メニ(十時間)

奈良女子高等師範學校訓導兼教諭 横井曹一

一、圖 畫 手 工(八時間)

(附 テープ畫、版畫、粘土彫塑、木彫等ノ理

論及ビ實習)

奈良女子高等師範學校教諭兼訓導 幾尾 純

一、音 樂(四時間)

(附實地練習)

奈良女子高等師範學校保姆兼教諭 會澤タガエ

一、幼稚園保育法(四時間)

注 意

受講希望者は受講學科目、會場、職、氏名を具し七月十五日までに地方長官に申出ること。講習に要する實驗實習印刷費其の他の雜費は當該學科目講習員の負擔とする。

定規文注

告 稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
  - 一、寄稿は一行二十六字詰に記して下さい。但改行は一字下げること。また句讀點は一字あけること。
  - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内  
日本幼稚園協會**
- 一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい。居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申下ささい。
  - 一、日本幼稚園協會會員外にて本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
  - 一、御送金の場合なるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
  - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
  - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
  - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

告 廣

發 行 所

不 許 複 製  
禁 轉 載

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内  
日本幼稚園協會  
振替口座東京一七二六六番

昭和三年七月十日印刷  
昭和三年七月十五日發行  
幼兒の教育 第二十八卷第七號

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料貳錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

編輯兼 堀 七 藏  
發行所 東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五  
印刷者 小長谷 勝之助  
印刷所 行政學會印刷所  
東京市牛込區西五軒町五二番地  
東京市牛込區西五軒町五二番地

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい



# 観察繪本キンダーブック

各 卷

定 價 五 十 錢

## 賛 助 員 (いろは順)

東京女子高等師範學校教授	堀 七 藏
同附屬幼稚園主任	及川ふみ
日本幼稚園協會主幹	和田 實
東京女子高等師範學校附屬幼稚園主任	河野清丸
目白幼稚園長	土川五郎
日本女子大學教授	倉橋惣三
同附屬小學校主事	藤 五代策
瑞穂幼稚園長	朝尾清記
東京女子高等師範學校教授	岸邊福雄
東京女子高等師範學校講師	森川正雄
東京都社會課	
托兒所指導	
東洋幼稚園長	
奈良女子高等師範學校附屬幼稚園主事	

## 既 刊

第一編 お米の卷

第二編 乗物の卷(其二)

第三編 櫻の卷

第四編 養蠶の卷

新幼稚園會中觀察科設置と同時に、多數幼児教育家の實質的指導のもとに生れた本誌は、未だ文字に習熟せぬ幼児に知識の寶庫を開拓する新機軸として全國各幼稚園御當局者から噴々の好評を博しました。

事實を誤らぬ觀察繪本の本旨に違はぬ様今後とも益々精進を續ける決心です江湖の御聲援を斯待します。

東京小石川區指ヶ谷町

株式會社

フレール

電話小石川三〇一番  
振替東京二九六四〇番

